



取扱説明書 -ウェブリモート編-

ATUC-50

デジタル有線会議システム

専用マイクロホン
ATUC-M43H/58H/M32L

会議マイクユニット
ATUC-50DU/ATUC-50DUa

通訳者ユニット
ATUC-50INT

コントロールユニット
ATUC-50CU

インテグレーションユニット
ATUC-50IU

リンクエクステンダー
ATLK-EXT165/ATLK-EXT25

投票ユニット
ATUC-VU

ATUC-IR

ハイブリッド赤外線会議システム

専用マイクロホン
ATUC-M43H/58H/M32L

IR会議マイクユニット
ATUC-IRDU

ハイブリッドコントロールユニット
ATUC-IRCU

ハイブリッドコントロールユニット (Dante搭載)
ATUC-IRCUDAN

IR受発光ユニット
ATUC-IRA

IR分配器
ATUC-IRD

充電器
ATCS-B60

目次

はじめに	3
取扱説明書について	3
本書の記載について	3
本書の構成について	3
商標について	3
ウェブリモートを使うための準備をする	4
ウェブリモートとは?	4
“Locate”をセットアップする	4
ウェブリモートコントロール機能を使って 会議を設定・運用する	5
ウェブリモートについて	5
ウェブリモートの全体構成	5
ウェブリモートの起動と操作の準備	6
ウェブリモートの起動とログイン	6
ウェブリモートのホーム画面について	6
システムの詳細な設定をする（[設定&保守]）	7
[設定&保守]の操作方法	7
メニュー一覧①（[システム設定]）	8
メニュー一覧②（[インストール設定]）	16
プリセットを操作する（[プリセット]）	30
ログを管理する（[ログ設定]）	30
システム情報を表示する（[システム情報]）	30
会議の準備をする （[会議セットアップ]）	31
❶ プリセットを呼び出す（[プリセット呼び出し]）	31
❷ 会議の設定を変更する（[会議設定]）	31
❸ DU/IUの設定を変更する （[DU/IU設定]、[DU/IU詳細設定]）	32
会議を運営・管理する（[会議開始]）	33
❶ 会議を運営する（[会議マネージャー]）	33
❷ オーディオに関する設定や操作を行う （[音量操作]）	34
❸ 会議の設定をする（[会議設定]）	34
困ったときは	35
故障かな?と思ったら	35
エラーメッセージ一覧	36

はじめに

■ 取扱説明書について

本書の記載について

本書で掲載しているイラストや画面は、実際の製品や画面とは異なる場合があります。

本書の構成について

本書「ウェブリモート編」では、ウェブリモートの使い方について記載しています。デジタル有線会議システム ATUC-50とハイブリッド赤外線会議システム ATUC-IRの製品については「本体編」を参照してください。

製品名の表記について

本書では、下記のように省略名を使用しています。

- 50CU：「コントロールユニット」ATUC-50CU
- 50DU：「会議マイクユニット」ATUC-50DU/ATUC-50DUa*
- 50INT：「通訳者ユニット」ATUC-50INT
- ATUC-M：「専用マイクロホン」ATUC-M43H/ATUC-M58H/ATUC-M32L
- 50IU：「インテグレーションユニット」ATUC-50IU
- EXT165：「リンクエクステンダー」ATLK-EXT165
- EXT25：「リンクエクステンダー」ATLK-EXT25
- VU：「投票ユニット」ATUC-VU
- IRCU：「ハイブリッドコントロールユニット」ATUC-IRCU
- IRCUDAN：「ハイブリッドコントロールユニット (Dante搭載)」ATUC-IRCUDAN
- IRDU：「IR会議マイクユニット」ATUC-IRDU
- IRA：「IR受発光ユニット」ATUC-IRA
- IRD：「IR分配器」ATUC-IRD
- B60：「充電器」ATCS-B60

* ATUC-50DUaはATUC-VU (投票ユニット) に対応した会議マイクユニットです。

また、下記の場合は、省略名を使用しています。

CU：ATUC-50CU、ATUC-IRCU、ATUC-IRCUDANのすべてを指す場合

DU：ATUC-50DU/ATUC-50DUaとATUC-IRDUの両方を指す場合

EXT：ATLK-EXT165とATLK-EXT25の両方を指す場合

記号について

▶ 詳細情報・関連情報が記載されているページを示しています。

注意 製品の故障や誤動作を防ぐため、守っていただきたいことを記載しています。

 補足説明や操作上のアドバイスが記載されています。

[] ウェブリモート画面のメニュー名を示しています。

モバイル機器での操作について

本書では、PCでの操作を中心に説明していますが、タブレットなどのモバイル機器も使用できます。「クリック」「ダブルクリック」の代わりに、「タップ」して操作してください。

商標について

- Apple、Apple のロゴ、iPad、Mac OS は、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。
- Google Play™およびGoogle Play™ロゴはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されている会社名、商品名およびロゴは、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークは明記していない場合があります。


■ ウェブリモートを使うための準備をする

ウェブリモートとは?

ウェブリモートとは、本システムをコントロールするウェブアプリケーションで、PCやタブレットのようなコントロール機器（以降、コントロール機器と呼びます）から、以下の項目をリモートコントロールできます。

- 会議の準備
- 会議の運用・管理
- 各種詳細設定

PCまたはモバイル機器を接続したら、“Locate”をダウンロードします。“Locate”を使用すると、設置されているCUのIPアドレスを入力することなく簡単にウェブリモート（6 ページ）にアクセスできます。

 • “Locate”を使用しないでウェブリモートを起動することもできます（6 ページ）。

ウェブリモートおよび“Locate”が動作するOS

- Microsoft Windows 10 以降
- macOS Ventura 以降

ウェブリモート推奨ウェブブラウザ

- Microsoft Edge
- Google Chrome
- Safari

- ご注意**
- ウェブブラウザは常に最新のバージョンをご利用ください。
 - ウェブリモートと同時にログインできるのは、コントロール機器3台までです。ただし1台のコントロール機器上で2種類のウェブブラウザを起動している場合は、2台とカウントされます。
 - ウェブリモートを終了する場合は、必ずログアウトしてからウェブブラウザの画面を閉じてください。ログアウトせずに画面を閉じると、その後5分間は、セッションが切れず、ウェブリモートにログインしたままの状態になります。

“Locate”をセットアップする

1 コントロール機器に“Locate”のインストーラーをダウンロードする。

PC (Windows、Mac) をご使用の場合：

ご使用の国または地域のオーディオテクニカのウェブサイトからダウンロードしてください。

http://www.audio-technica.com/world_map/
手順2へ進んでください。

iOSをご使用の場合：

App Storeで検索してインストールしてください。



手順4へ進んでください。

Androidをご使用の場合：

Google Playで検索してインストールしてください。



手順4へ進んでください。

2 ダウンロードした“setup.exe”をダブルクリックする。

セットアップウィザードが表示されます。

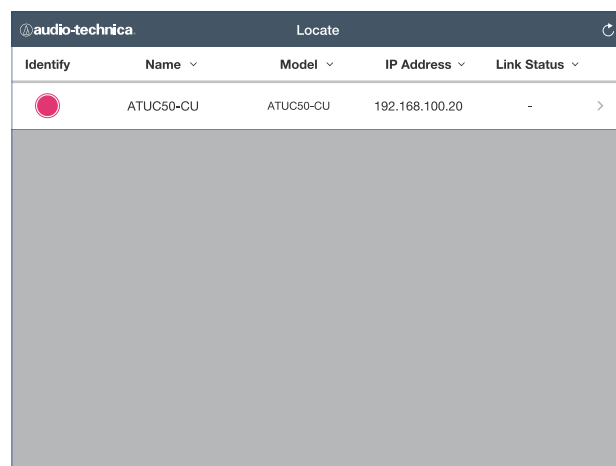
3 画面上に表示された指示に従い、“Locate”をインストールする。

インストールが完了すると、デスクトップに“Locate”のアイコンが表示されます。


4 CUがコントロール機器と同じネットワーク上に接続され、電源がONであることを確認したら、“Locate”のアイコンをダブルクリックする。

“Locate”が起動します。ネットワークに接続されているCUが自動検出されます。

5 ウェブリモートコントロールを行いたいCUを選び、[Open]をクリックする。



ウェブリモートのログイン画面が表示されます。

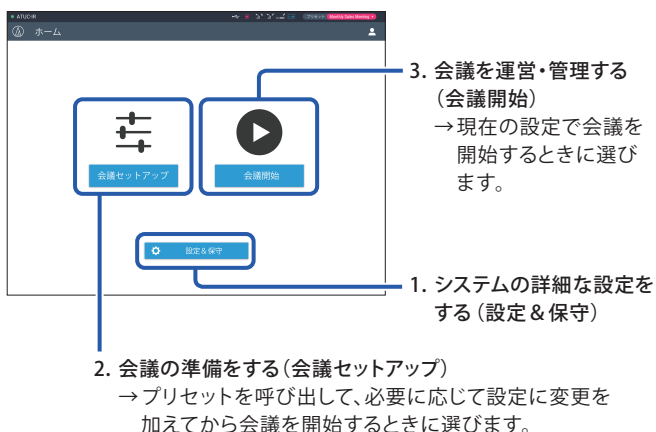
-  • [Identify] のアイコンをクリックすると、アイコンが赤く点灯し、当該CUのフロントパネルにあるインジケーター類が点滅します。システム上にCUが複数あり、“Locate”のリストに表示されているCUからコントロールしたいCUを選択するときなど、CUを特定したい場合にご利用ください。

ウェブリモートコントロール機能を使って会議を設定・運用する

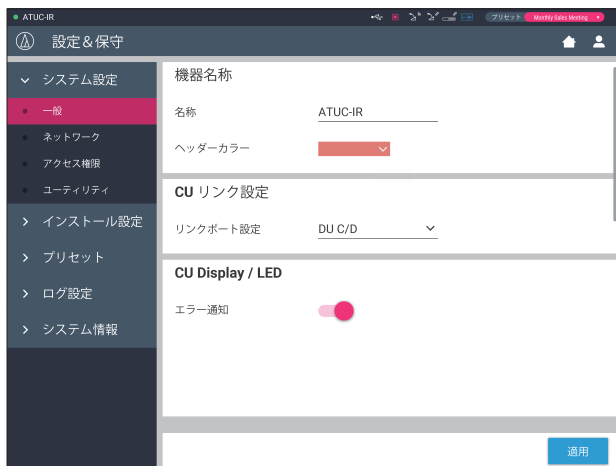
■ウェブリモートについて

ウェブリモートの全体構成

ウェブリモートのホーム画面（以下）から、3つのメインメニューにアクセスできます。



1. システムの詳細な設定をする (設定 & 保守) (7ページ) :



[設定 & 保守] では、以下の5つのカテゴリーでシステム全体に関わる詳細設定などを行います。

[システム設定] (8ページ)

機器名やネットワークに関する設定、またログインパスワードやユーザーアクセス権限などの設定を行います。ファームウェアのアップデートもここから行います。

[インストール設定] (16ページ)

会議モードの設定 (20ページ) を行います。また、CUへの音声入出力の詳細設定や録音設定もできます。各DUのスピーカー設定やLEDの色、各INTの通訳設定などの詳細設定も行います。

[プリセット] (30ページ)

[インストール設定] での設定内容をプリセットとして保存、呼び出しを行います。また、作成したプリセットをエクスポートして、他のCUにそのプリセットデータをインポートすることができます。

[ログ設定] (30ページ)

本システムの操作ログのオン/オフや、ログファイルのダウンロードを行います。

[システム情報] (30ページ)

ネットワークの詳細情報や、ファームウェアのバージョンを表示します。

2. 会議の準備をする

(会議セットアップ) (31ページ) :

以下の3つのステップで会議の準備を行います。

[プリセット呼び出し] (31ページ)

登録済みの設定 (プリセット) の中から、開催される会議のタイプに合わせてプリセットを選択します。

1つの会議システムで様々なタイプの会議に対応する場合、会議のタイプに応じた設定をプリセットしておくくと便利です。

[会議設定] (31ページ)

開催される会議に合わせて、発言方法を設定する [会議モード] (20ページ) を選択し、その詳細設定などを行います。

[DU/IU設定] (32ページ)

システムに接続されている各DU/IUに対して、出席者名の設定、オーディオ設定、プライオリティ設定などを行います。

3. 会議を運営・管理する

(会議開始) (33ページ) :

会議の運営・管理は、以下の3つの画面を切り替えて行います。

[会議マネージャー] (33ページ)

出席者 (DU) の一覧が表示されます。出席者名、プライオリティ設定や発言リクエストの状態などが表示されます。また、出席者への発言権の付与なども行います。

[音量操作] (34ページ)

マスターアウトプットの設定、ブザー音の再生、会議録音操作などのオーディオ操作を行います。

[会議設定] (34ページ)

会議中でも「会議モード」等、詳細設定を変更することができます。

■ ウェブリモートの起動と操作の準備

ウェブリモートの起動方法や、画面上部に常時表示されているヘッダーの説明をします。

ウェブリモートの起動とログイン

1 ウェブリモートのログイン画面を表示させる。

“Locate”からログインするには：

- (1)「Locate」をセットアップする」の手順4、5 を行う。
(▶4ページ)
ウェブリモートが起動し、ログイン画面が表示されます。

“Locate”を使用しないでウェブリモートを起動するには：

ご注意 •CUがコントロール機器と同じネットワークに接続されていることを確認してください。ネットワーク端子がある機器の場合は、LANケーブルで直接CUに接続することもできます。(▶ATUC-50/ATUC-IR取扱説明書(本体編))

- (1) CUの設定メニュー(Set)の System Info → IP Address でCUのIPアドレスを確認する。
(▶ATUC-50/ATUC-IR取扱説明書(本体編))
- (2) ブラウザを起動して、アドレスバーに手順(1)で確認したIPアドレスを入力する。
ウェブリモートが起動し、ログイン画面が表示されます。

2 [操作者]または[管理者]を選択して、[ログイン]をクリックする。



言語を変更するには、言語表示の横の [▼] をクリックし、プルダウンから使用したい言語を選択します。

[操作者]のアクセス権限は、[システム設定] → [アクセス権限] → [操作者アクセス設定] で設定します。(▶10ページ)

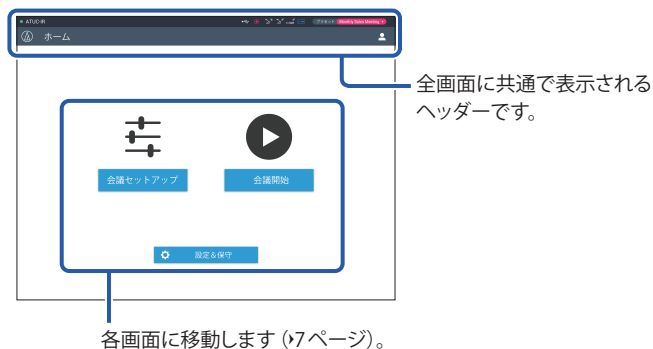
ログインパスワード(▶10ページ)が設定されている場合には、表示されるパスワード入力画面でパスワードを入力してください。



ログインすると、ホーム画面が表示されます。

ウェブリモートのホーム画面について

• [操作者]のアクセス権限の設定によっては、ホーム画面に [設定 & 保守] が表示されません。



ヘッダー部の表示について：



- ① 画面名(例：ホーム)を表示します。
- ② 呼び出した会議設定のプリセット(▶30ページ)名称を表示します。呼び出したプリセットに変更が加えられると、白抜き文字で表示されます。また、プリセットの呼び出し・保存ができます。
- ③ 各種インジケータ(▶ATUC-50/ATUC-IR取扱説明書(本体編))を表示します。何か問題が発生した場合、そのインジケータの下に「▲」マークが表示されます。インジケータにカーソルを移動すると、問題の内容がポップアップ表示されます。
- ④ ウェブリモートからコントロールしている機器の名前(ATUC-50CUなど)を表示します。
- ⑤ ホームボタン：クリックすると、ホーム画面に戻ります。
- ⑥ ログアウトボタン：クリックすると、現在ログイン中の権限とログアウトメニューが表示されます。

■ システムの詳細な設定をする（[設定 & 保守]）

ここでは、システム全体に関わる詳細設定や、メンテナンス時や障害発生時に使用するユーティリティが準備されています。

[設定 & 保守] の操作方法

- 1 ウェブリモートのホーム画面から [設定 & 保守] をクリックする。



- 2 左側の5つの設定項目から設定したい項目を選ぶ。



- 3 必要に応じて設定を行い、[適用] をクリックする。



- 表示されるボタンは画面によって異なります。
- オーディオ関連の設定など、数値の変更が即刻反映される画面では、[適用] ボタンが表示されない場合もあります。

メニュー一覧① ([システム設定])

[システム設定] で設定できる各項目の、設定値およびデフォルト値は以下のとおりです。


 は、CU本体のディスプレイで表示される項目名です。






 はプリセットに含まれる項目です。


一般設定 ([一般])

項目名	項目説明と設定値 (太字 はデフォルト値です。)	50CU	IRCU	IRCUDAN
機器名称				
名称  Device Name	ウェブリモートからコントロールしている機器の名前を表示します。 ATUC-50CU / ATUC-IRCU	✓	✓	✓
ヘッダーカラー	機器名称と併に表示されるヘッダーカラーを設定します。	✓	✓	✓
CUリンク設定				
リンクポート設定  Link Port Set	CU LINK A/B端子とDU CHAIN C/D端子を切り替えます。 CU A/B、DU C/D	✓	✓	✓
親機/子機  CU Link Mode	複数のCUをカスケード接続して使用する場合、CUの主従関係(親機/子機)を設定します。 親機、子機、子機(末端) ご注意 • CU LINKを利用せず、CUをスタンドアロンで使用する場合は、必ず[CUリンク設定]を[親機]に設定してください。 [子機]に設定して使用した場合、動作保証できません。	✓	—	—
CU Display / LED				
エラー通知  CU Error Notice	CUのディスプレイにエラーの通知を行うか、および、エラー発生時にATUC-MICのLEDを点滅させるか設定します。 オン、オフ	✓	✓	✓
CU起動設定				
ウェイトタイム	起動における待ち時間を設定します。 0sec、1sec、2sec、3sec、4sec、5sec、6sec、7sec、8sec、9sec、10sec	✓	✓	✓

ネットワーク設定 ([ネットワーク])

 • ネットワーク設定の項目を変更した場合、設定値を有効にするためCUの再起動が必要となります。

項目名	項目説明と設定値 (太字 はデフォルト値です。)	50CU	IRCU	IRCUDAN
ネットワークコンフィグレーション				
モード  Config Mode	環境に合わせてネットワークコンフィグレーションモードを設定します。 スイッチ、リダンダント、スプリット	—	—	✓
レイテンシー  Latency	Danteポートのレイテンシーを設定します。 250usec、 500usec 、1msec、2msec、5msec	—	—	✓
Dante&オーディオポート設定				
IPコンフィグ・モード(プライマリー)  IP Config Mode	IPアドレス取得方法を設定します。 オート : DHCPサーバー等が自動でIPアドレスを割り当てます。 固定: 固定IPアドレスを指定します。選択すると、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが設定できるようになります。	—	—	✓
IPアドレス(プライマリー)  IP Address	プライマリーのIPアドレスを表示します。 [IPコンフィグ・モード] を [オート] に設定したときは表示しません。	—	—	✓
サブネット・マスク(プライマリー)  Subnet Mask	プライマリーのサブネットマスクを表示します。 [IPコンフィグ・モード] を [オート] に設定したときは表示しません。	—	—	✓

ゲートウェイ・アドレス (プライマリー) OLE Gateway Address	プライマリーのゲートウェイアドレスを表示します。 [IPコンフィグ・モード] を [オート] に設定したときは表示しません。	-	-	✓
IP設定 (セカンダリー)	セカンダリのIP設定を行います。 各項目の設定内容はプライマリと同様です。 ネットワークコンフィグレーションの [モード] を [リダンダント] に設定したときのみ表示します。	-	-	✓
IPコントロール・Webリモートポート設定	IRCUDAN未使用時は IP設定 と表示します。			
IPコンフィグ・モード OLE IP Config Mode	IPアドレス取得方法を設定します。 オート : DHCPサーバー等が自動でIPアドレスを割り当てます。 固定 : 固定IPアドレスを指定します。選択すると、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが設定できるようになります。	✓	✓	✓
IPアドレス OLE IP Address	IPアドレスを表示します。 [IPコンフィグ・モード] を [オート] に設定したときは表示しません。	✓	✓	✓
サブネット・マスク OLE Subnet Mask	サブネットマスクを表示します。 [IPコンフィグ・モード] を [オート] に設定したときは表示しません。	✓	✓	✓
ゲートウェイ・アドレス OLE Gateway Address	ゲートウェイアドレスを表示します。 [IPコンフィグ・モード] を [オート] に設定したときは表示しません。	✓	✓	✓
自動検出許可 OLE Allow Discovery	"Locate"からの自動検出の設定をします。 オン 、 オフ	✓	✓	✓
IPコントロール設定				
ポート番号 OLE IP Ctrl Port No	IPコントロールポートの番号を表示します。 00001-65535 (17300)	✓	✓	✓
通知 OLE IP Ctrl Ntfy	IPコントロール時にデバイスからの通知を受ける設定をします。 オン 、 オフ	✓	✓	✓
音量通知 OLE Audio Level Ntfy	IPコントロール時にデバイスからオーディオレベルの通知を受ける設定をします。 オン 、 オフ	✓	✓	✓
マルチキャスト・アドレス OLE M-cast Adrs	マルチキャストのアドレスを設定します。 0.0.0.0 - 255.255.255.255 (225.0.0.100)	✓	✓	✓
マルチキャスト・ポート番号 OLE M-cast Port No	マルチキャストのポート番号を設定します。 00001-65535 (17000)	✓	✓	✓
ネットワーク切断時の自動会議モード変更				
オン OLE Auto Mode Change	[フルリモート] で運用中にネットワークエラーが発生した場合、自動的に [フリートーク] に切り替えます。 オン 、 オフ	✓	✓	✓
ホールドタイム OLE Hold Time (Err)	[フルリモート] で運用中にネットワークエラーが発生してから、自動的に [フリートーク] に切り替わるまでの時間を設定します。 20, 30, 40 sec  ウェブリモートで運用している場合、最大で15秒程度、時間が長くなる場合があります。	✓	✓	✓
NTP設定				
オン OLE NTP	NTP (ネットワークタイムプロトコル) の設定をします。 オン 、 オフ	✓	✓	✓
サーバー・アドレス OLE NTP Adrs	NTPのサーバーアドレスを設定をします。 0.0.0.0 - 255.255.255.255 (デフォルトは空欄)	✓	✓	✓
ポート番号 OLE NTP Port	NTPのポート番号を設定します。 00001-65535 (123)	✓	✓	✓
タイムゾーン OLE Time Zone	UTC (協定世界時) との時差を設定します。 UTC -12:00 ~ +14:00、0:30 単位 (00:00)	✓	✓	✓
サマータイム OLE DST	サマータイムの入/切を設定します。 オン 、 オフ	✓	✓	✓

開始日時 OLED DST Start Date OLED DST Start Time	サマータイム開始の日時を設定します。 1/1～12/31 (3/27) 0:00～23:00、1時間単位 (2:00)	✓	✓	✓
終了日時 OLED DST End Date OLED DST End Time	サマータイム終了の日時を設定します。 1/1～12/31 (10/30) 0:00～23:00 (2:00)	✓	✓	✓

赤外線設定 ([赤外線])

項目名	項目説明と設定値 (太字はデフォルト値です。)	50CU	IRCU	IRCUDAN
赤外線設定				
システム起動時IRDU検出回数 OLED IRDU NoToDetect	起動時に検索するIRDUの機器IDの最大値を設定します。 50	—	✓	✓
使用可能赤外線周波数チャンネル制限 OLED Limit NOM	IRDU NOMを会議設定のNOMにも反映させるかどうかを設定します。 オン、オフ	—	✓	✓
IRDUチャンネル				
アクティブ	有効になったバンドのインジケータが赤色に点灯します。	—	✓	✓
周波数	各バンドの周波数を表示します。	—	✓	✓
オン OLED IRDU Band	各バンドの有効/無効を設定します。	—	✓	✓

ユーザーアクセス設定 ([アクセス権限])

項目名	項目説明と設定値 (太字はデフォルト値です。)	50CU	IRCU	IRCUDAN
管理者アクセス設定				
ログイン・パスワード OLED Admin.Pwd.Login	管理者としてログインする場合のパスワード要求を設定します。 オン、オフ	✓	✓	✓
OLED Admin.Password	管理者としてログインする場合のパスワードを設定します。 4～8文字の英数字を入力 (デフォルトは空欄)	✓	✓	✓
操作者 1 アクセス設定				
名称編集	操作者 1 の名前を変更できるようにするかを設定します。 オン、オフ	✓	✓	✓
名称	操作者 1 の権限の名前を設定します。 Operator 1	✓	✓	✓
ログイン・パスワード	操作者 1 としてログインする場合のパスワード要求を設定します。 オン、オフ	✓	✓	✓
操作者パスワード OLED Opr.Pwd.Login	操作者としてログインする場合のパスワード要求を設定します。 オン、オフ	✓	✓	✓
OLED Opr.Password	操作者としてログインする場合のパスワードを設定します。 4～8文字の英数字を入力 (デフォルトは空欄)	✓	✓	✓
ホームページ				
会議開始 会議セットアップ	会議の準備 ([会議セットアップ]) や運営・管理 ([会議開始]) における機能制限の有無を設定します。 全権、制限	✓	✓	✓
設定 & 保守	詳細な設定 ([設定 & 保守]) へのアクセスの可否を設定します。[無] に設定すると、ホーム画面で [設定 & 保守] のボタンが表示されません。 有、 無	✓	✓	✓
設定 & 保守 CUディスプレイ・メニュー				
システム設定	システム設定を行えるのは管理者のみです。 無	✓	✓	✓

インストール設定	有、無	✓	✓	✓
プリセット	有、無	✓	✓	✓
ログ設定	有、無	✓	✓	✓
システム情報	有、無	✓	✓	✓
操作者 2 アクセス設定				
オン	操作者 2 の有効/無効を設定します。 オン、オフ	✓	✓	✓
名称編集	操作者 2 の名前を変更できるようにするかを設定します。 オン、オフ	✓	✓	✓
名称	操作者 2 の権限の名前を設定します。 Operator 2	✓	✓	✓
ログイン・パスワード	操作者 2 としてログインする場合のパスワード要求を設定します。 オン、オフ	✓	✓	✓
ホームページ				
会議開始 会議セットアップ	会議の準備（[会議セットアップ]）や運営・管理（[会議開始]）における機能制限の有無を設定します。 全権、制限	✓	✓	✓
設定 & 保守	詳細な設定（[設定 & 保守]）へのアクセスの可否を設定します。[無] に設定すると、ホーム画面で [設定 & 保守] のボタンが表示されません。 有、無	✓	✓	✓
設定 & 保守				
システム設定	詳細な設定（ウェブリモートの [設定 & 保守] におけるアクセス権限を設定します。各メニューごとに権限を設定できます。 システム設定を行えるのは管理者のみです。 無	✓	✓	✓
インストール設定	有、無	✓	✓	✓
プリセット	有、無	✓	✓	✓
ログ設定	有、無	✓	✓	✓
システム情報	有、無	✓	✓	✓
CUディスプレイメニュー設定				
レベル	OLEDで最初に表示するメニューを制限します。 各メニューごとに権限を設定できます。 有、無	✓	✓	✓
レコーディング	有、無	✓	✓	✓
プリセット	有、無	✓	✓	✓

ユーティリティ ([ユーティリティ])

[システム設定] から実行できる操作です。

項目名	操作内容と手順	50CU	IRCU	IRCU DAN
<p>ATUC-50CUファームウェア・アップデート</p>	<p>CUのファームウェアをアップデートします。</p>  <p>① 画面に表示される [シリアル番号]、[機器名称]、現在の [ファームウェアVer] で、本CUがアップデート対象であることを確認する。</p> <p>② [開く] をクリックすると表示されるファイル選択画面から、バージョンアップファイルを選択する。 [開く] をクリックするとファイルのロードが始まります。</p> <p>③ ロードが完了して [アップデート] が選択できるようになったら、クリックする。</p> <p>④ ポップアップに確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリックしてアップデートを実行する。 完了すると [完了。電源をお切り下さい。] が表示されます。</p> <p>⑤ CUの電源をオフにして再起動する。</p>	<p>✓</p>	<p>—</p>	<p>—</p>
<p>ATUC-IR CUファームウェアアップデート</p>	<p>ATUC-50CUと同様で、従来通りIRCUのファームウェアをアップデートします。</p>  <p>① 画面に表示される [シリアル番号]、[機器名称]、現在の [ファームウェアVer] で、本CUがアップデート対象であることを確認する。</p> <p>② [開く] をクリックすると表示されるファイル選択画面から、バージョンアップファイルを選択する。 [開く] をクリックするとファイルのロードが始まります。</p> <p>③ ロードが完了して [アップデート] が選択できるようになったら、クリックする。</p> <p>④ ポップアップに確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリックしてアップデートを実行する。 完了すると [完了。電源をお切り下さい。] が表示されます。</p> <p>⑤ IRCUの電源をオフにして再起動する。</p>	<p>—</p>	<p>✓</p>	<p>✓</p>

ATUC-IR IRファームウェアアップデート

IRCUの赤外線に関するファームウェアをアップデートします。



- ① 画面に表示される [シリアル番号]、[機器名称]、現在の [ファームウェア Ver] で、本CUがアップデート対象であることを確認する。
- ② [開く] をクリックすると表示されるファイル選択画面から、バージョンアップファイルを選択する。
[開く] をクリックするとファイルのロードが始まります。
- ③ ロードが完了して [アップデート] が選択できるようになったら、クリックする。
- ④ ポップアップに確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリックしてアップデートを実行する。
完了すると [完了。電源をお切り下さい。] が表示されます。
- ⑤ IRCUの電源をオフにして再起動する。

— ✓ ✓

ATUC-50DUファームウェア・アップデート

DUのファームウェアをアップデートします。



- ① 画面に表示される [シリアル番号]、[参加者名]、現在の [ファームウェア Ver] を確認し、左端のチェックボックスをチェックしてアップデート対象のDUを選択する。
すべてのDUを選択する場合は、左上の [全て] をクリックします。
- ② [開く] をクリックすると表示されるファイル選択画面から、バージョンアップファイルを選択する。
[開く] をクリックするとファイルのロードが始まります。
- ③ ロードが完了して [アップデート] が選択できるようになったら、クリックする。
- ④ ポップアップに確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリックしてアップデートを実行する。
完了すると [完了。電源をお切り下さい。] が表示されます。
- ⑤ CUの電源をオフにして再起動する。

✓ ✓ ✓

DUaのファームウェアをアップデートします。

ATUC-50DUaファームウェア・アップデート



- ① 画面に表示される [シリアル番号]、[参加者名]、現在の [ファームウェア Ver] を確認し、左端のチェックボックスをチェックしてアップデート対象のDUaを選択する。
すべてのDUaを選択する場合は、左上の [全て] をクリックします。
- ② [開く] をクリックすると表示されるファイル選択画面から、バージョンアップファイルを選択する。
[開く] をクリックするとファイルのロードが始まります。
- ③ ロードが完了して [アップデート] が選択できるようになったら、クリックする。
- ④ ポップアップに確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリックしてアップデートを実行する。
完了すると [完了。電源をお切り下さい。] が表示されます。
- ⑤ CUの電源をオフにして再起動する。

✓ ✓ ✓


IUのファームウェアをアップデートします。

ATUC-50IUファームウェア・アップデート



- ① 画面に表示される [シリアル番号]、[参加者名]、現在の [ファームウェア Ver] を確認し、左端のチェックボックスをチェックしてアップデート対象のIUを選択する。
すべてのIUを選択する場合は、左上の [全て] をクリックします。
- ② [開く] をクリックすると表示されるファイル選択画面から、バージョンアップファイルを選択する。
[開く] をクリックするとファイルのロードが始まります。
- ③ ロードが完了して [アップデート] が選択できるようになったら、クリックする。
- ④ ポップアップに確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリックしてアップデートを実行する。
完了すると [完了。電源をお切り下さい。] が表示されます。
- ⑤ CUの電源をオフにして再起動する。

✓ ✓ ✓

<p>通訳者ユニット・ファームウェア・アップデート</p>	<p>INTのファームウェアをアップデートします。</p>  <p>① 画面に表示される[シリアル番号]、[参加者名]、現在の[ファームウェアVer]を確認し、左端のチェックボックスをチェックしてアップデート対象のINTを選択する。 すべてのINTを選択する場合は、左上の[全て]をクリックします。</p> <p>② [開く]をクリックすると表示されるファイル選択画面から、バージョンアップファイルを選択する。 [開く]をクリックするとファイルのロードが始まります。</p> <p>③ ロードが完了して[アップデート]が選択できるようになったら、クリックする。</p> <p>④ ポップアップに確認メッセージが表示されたら、[はい]をクリックしてアップデートを実行する。 完了すると[完了。電源をお切り下さい。]が表示されます。</p> <p>⑤ CUの電源をオフにして再起動する。</p>	<p>✓</p>	<p>✓</p>	<p>✓</p>
<p>言語パック・インストール</p>	<p>言語パックをインストールします。</p> <p>① 言語パックをインストールするバンクを選択する。</p> <p>② [開く]をクリックすると表示されるファイル選択画面から、インストールしたい言語ファイルを選択する。</p> <p>③ [インストール]をクリックして言語パックをインストールする。 完了すると[完了。まもなく自動的にログアウトします。]が表示され、2秒後にログアウトします。 続けて操作する場合は、再ログインしてください。</p>	<p>✓</p>	<p>✓</p>	<p>✓</p>
<p>全設定を初期化 OLED Reset All Dflt.</p>	<p>50CU/50DU/50IU/50INT/IRCU/IRCUDAN工場出荷時の設定に戻します(ファームウェアは現在のバージョンのままです)。</p> <p>① [本当に全設定をデフォルトにリセットしますか?]と確認メッセージが表示されたら、[はい]をクリックします。再度確認メッセージが表示されます。</p> <p>② [はい]をクリックして、工場出荷時の設定に戻す。 [完了。電源をお切り下さい。]が表示されます。</p> <p>③ 50CU/IRCU/IRCUDANの電源をオフにして再起動する。</p>	<p>✓</p>	<p>✓</p>	<p>✓</p>

メニュー一覧② ([インストール設定])

[Install Settings] で設定できる各項目の、設定値およびデフォルト値は以下のとおりです。

OLEDは、CU画面で表示される項目名です。

Pはプリセットに含まれる項目です。

CUのオーディオ設定 ([CUオーディオ])

項目名	項目説明と設定値 (太字 はデフォルト値です。)	50CU	IRCU	IRCUDAN
入力設定	マイク/ラインの入力音声1、2のタイプやレベルなどを設定します。1と2で個別に設定できます。			
Mic/Line 1-2				
タイプ OLED Input Type	入力のタイプを設定します。 マイク 、+4dBu、0dBV、Dante* *IRCUDANのみ対応しています。	✓	✓	✓
入力ゲイン OLED Input Gain	マイク入力のインプットゲインを設定します。([タイプ]が[マイク]のときのみ設定できます。) -24 ~ +20dB (0dB)	✓	✓	✓
レベル OLED Level	マイク/ラインの入力レベルを設定します。入力のタイプ別 (Mic、LineまたはDante) にレベルを設定できます。 -∞、-120 ~ +10dB (0dB)	✓	✓	✓
レベルメーター	入力レベルをレベルメーターで表示します。	✓	✓	✓
EQライブラリー	マイク/ライン入力に適用するEQパターンを選択します。入力のタイプ別 (Mic、LineまたはDante) に選択できます。 フラット HH Dyn M : ダイナミック ハンドヘルド マイクロホン (男性) HH Dyn F : ダイナミック ハンドヘルド マイクロホン (女性) HH Cond M : コンデンサ ハンドヘルド マイクロホン (男性) HH Cond F : コンデンサ ハンドヘルド マイクロホン (女性) Lavalier M : ラベリア マイクロホン (男性) Lavalier F : ラベリア マイクロホン (女性) (IPコントロール (*1)) BP892 M (*2)、BP892 F (*2)、AT898 M (*2)、AT898 F (*2)、 AT899 M (*2)、AT899 F (*2)、AT831 M (*2)、AT831 F (*2) *1 : IPコントロール機能でEQ調整した場合、[IPコントロール]と表示されます。プルダウンリストからは選択できません。 *2 : IRCU、IRCUDANのみ対応しています。	✓	✓	✓
ローカット	マイク入力の低域をカットするかどうかを選択します。 オン 、オフ	✓	✓	✓
ファントム OLED Phantom Power	ファントム電源 (+48V) のオン/オフの設定をします。 オン 、オフ	✓	✓	✓
ミュートされる	ミュートの対象とするかどうかを設定します。 オン 、オフ	✓	✓	✓
フロアー・ミックス OLED Mix to Floor	入力された音声をフロアーへミックスするかどうかを設定します。 オン 、オフ	✓	✓	✓
L1 ミックス (Mic/Line 1のみ)	入力された音声を言語 1へミックスするかどうかを設定します。 オン 、オフ	✓	✓	✓
L2 ミックス (Mic/Line 2のみ)	入力された音声を言語 2へミックスするかどうかを設定します。 オン 、オフ	✓	✓	✓
Aux	外部入力の音声のタイプやレベルなどを設定します。			
タイプ OLED Input Type	外部入力のタイプを設定します。 Analog 、Dante	-	-	✓
入力ゲイン	外部入力の基準レベルを設定します。[タイプ]を[Analog]に設定したときに表示されます。 0dBV 、-10dBV、-20dBV	✓	✓	✓
レベル OLED Level	外部入力の入力レベルを設定します。 -∞、-120 ~ +10dB (0dB)	✓	✓	✓


レベルメーター		入力レベルをレベルメーターで表示します。	✓	✓	✓
ローカット		外部入力の低域をカットするかどうか設定します。 オン、オフ	✓	✓	✓
フロアー・ミックス MIX Mix to Floor	P	外部入力をフロアーへミックスするかどうか設定します。 オン、オフ	✓	✓	✓
L1 ミックス	P	入力された音声を言語 1へミックスするかどうか設定します。 オン、オフ	✓	✓	✓
L2 ミックス	P	入力された音声を言語 2へミックスするかどうか設定します。 オン、オフ	✓	✓	✓
Return 1-2		リターン入力のレベルやEQパターンを設定します。			
入力ゲイン	P	リターン入力の基準レベルを設定します。 +4dBu、0dBV	✓	✓	✓
レベル	P	リターン入力の入力レベルを設定します。 -∞、-120 ~ +10dB (0dB)	✓	✓	✓
レベルメーター		入力レベルをレベルメーターで表示します。	✓	✓	✓
ローカット	P	リターン入力の低域をカットするかどうか設定します。 オン、オフ	✓	✓	✓
グループ設定					
ゲインシェア					
バイパス	P	ゲインシェアをバイパスさせる設定をします。 グループ 0: オン、オフ グループ 1~グループ 3: オン、オフ	✓	✓	✓
FBS					
オン	P	フィードバックサブレッサ (FBS) の設定です。チェックマークを入れると、その [グループ] のFBSが [オン] になり、設定ボタン (ON) がクリックできる状態になります。設定ボタン (OFF) をクリックすると表示される [フィードバック・サブレッサ設定] 画面で、詳細設定を行ってください。 グループ 0: オン、オフ グループ 1~グループ 3: オン、オフ	✓	✓	✓
フィードバック・サブレッサ設定					
周波数	P*	フィードバックが検出され、ノッチフィルタが適用された周波数を表示します。 [固定] が [オフ] の場合は、検出されるフィードバックに応じてダイナミックに変化します。 * [固定] が [オン] の場合、 [周波数] の値が固定フィルタの周波数としてプリセットに含まれます。	✓	✓	✓
固定	P	フィルタの周波数をロックし、固定フィルタへ切り替えます。 オン、オフ	✓	✓	✓
リセット		ロックされているすべての周波数を解除します。	✓	✓	✓
検出	P	フィードバック周波数の検出感度を設定します。 低、中、高	✓	✓	✓
レスポンス	P	フィードバック周波数の検出速度を設定します。 遅い、速い	✓	✓	✓
グループ0: フロアー・ミックス	P	[グループ0]の音声をフロアーにミックスします。 オン、オフ	✓	✓	✓
グループ1: L1 ミックス	P	[グループ1]の音声を言語 1にミックスします。 オン、オフ	✓	✓	✓
グループ2: L2 ミックス	P	[グループ2]の音声を言語 2にミックスします。 オン、オフ	✓	✓	✓
グループ3: L3 ミックス	P	[グループ3]の音声を言語 3にミックスします。 オン、オフ	✓	✓	✓

出力設定		OUTPUT 1 ~ 4から出力する音声に関する設定をします。			
出力先 1-4			✓	✓	✓
音源		出力する音声のソースを設定します。 フロアー、グループ0、グループ1、グループ2、グループ3、言語1、言語2、言語3 (デフォルトはそれぞれ次のとおり。出力1： フロアー 、出力2： グループ1 、出力3： グループ2 、出力4： グループ3)	✓	✓	✓
PEQ (出力1のみ)		パラメトリックイコライザ (PEQ) の設定です。チェックマークを入れるとその出力のPEQが [オン] になり、設定ボタン () がクリックできる状態になります。設定ボタン () をクリックすると表示される [PEQ設定] 画面で、1~8のバンドごとに各種設定を行ってください。			
PEQオン		PEQのOn / Offを切り替えます。 オン、オフ	✓	✓	✓
周波数 (バンド#1 - バンド#8)		[バンド#1] から [バンド#8] まで、個別に周波数を設定します。 20Hz ~ 20kHz (デフォルトは、バンド1から8の順に 25、63、160、400、1000、2500、6300、16000)	✓	✓	✓
ゲイン (バンド#1 - バンド#8)		[バンド#1] から [バンド#8] まで、個別にゲインを設定します。 -18dB ~ +10dB、0.5dB単位で調整 (0dB) • [バンド#1] の [ゲイン] は、[フィルター・タイプ] が [LSH] または [PEQ] に設定されているときのみ、設定できます。 • [バンド#8] の [ゲイン] は、[フィルター・タイプ] が [HSH] または [PEQ] に設定されているときのみ、設定できます。	✓	✓	✓
Q (バンド#1 - バンド#8)		[バンド#1] から [バンド#8] まで、個別にQ値を設定します。 • [バンド#1] および [バンド#8] は、PEQを選択した場合のみ、Qが設定可能です。 0.3 ~ 30 (10)	✓	✓	✓
フィルター・タイプ (バンド#1)		[バンド#1] のフィルタータイプを設定します。 HPF、LSH、 PEQ	✓	✓	✓
フィルター・タイプ (バンド#8)		[バンド#8] のフィルタータイプを設定します。 LPF、HSH、 PEQ	✓	✓	✓
リセット		各バンドの設定値をデフォルトに戻します。	✓	✓	✓
全リセット		すべてのバンドの設定値をデフォルトに戻します。	✓	✓	✓
DYN (出力1のみ)		ダイナミクス (DYN) の設定です。チェックマークを入れると出力1の [DYN] が [オン] になり、設定ボタン () がクリックできる状態になります。設定ボタン () をクリックすると表示される [ダイナミック設定] 画面で、以下の各種設定を行います。			
オン		ダイナミクスのOn / Offを切り替えます。 オン、オフ	✓	✓	✓
出力1 レベル・メーター		出力1のレベルをメーターで表示します。	✓	✓	✓
減衰メーター		コンプレッサーで圧縮された音量をリアルタイムで表示します。	✓	✓	✓
コンプレッサー / ディエッサー		ダイナミクスのモードを変更します。 コンプレッサー 、 ディエッサー	✓	✓	✓
コンプ・スレッシュホールド		コンプレッサーの閾値を設定します。設定した値を越えた音声信号に対してのみ、コンプレッサーが機能します。IRCU/IRCUDANでは、[コンプレッサー / ディエッサー・モード] を [コンプ] に設定したときに表示します。 -60 ~ 0dB (-10)	✓	✓	✓
比率		圧縮する比率を設定します。IRCU/IRCUDANでは、[コンプレッサー / ディエッサー・モード] を [コンプ] に設定したときに表示します。 1.4:1、 2:1 、4:1、6:1、10:1、∞:1	✓	✓	✓

アタック・タイム	Ⓟ	閾値を越えた音声信号に対して、圧縮が始まるまでの時間を設定します。 IRCU/IRCUDANでは、[コンプレッサー / ディエッサー・モード] を [コンプ] に設定したときに表示します。 0、0.25、0.5、1、2、4、8、16、32、100msec (1msec)	✓	✓	✓
リリース・タイム	Ⓟ	閾値以下に収まった音声信号に対して、圧縮が終わるまでの時間を設定します。IRCU/IRCUDANでは、[コンプレッサー / ディエッサー・モード] を [コンプ] に設定したときに表示します。 50、100、200、400、800、1000、2000msec (400msec)	✓	✓	✓
ゲイン	Ⓟ	コンプレッサーのゲインを設定します。 IRCU/IRCUDANでは、[コンプレッサー / ディエッサー・モード] を [コンプ] に設定したときに表示します。 -10 ~ +10dB (0dB)	✓	✓	✓
リミッター・スレッシュホールド	Ⓟ	リミッターの閾値を設定します。 設定した値を越えた音声信号は、リミッターによりカットされます。IRCU/IRCUDANでは、[コンプレッサー / ディエッサー・モード] を [コンプ] に設定したときに表示します。 -60 ~ 0dB (-10)	✓	✓	✓
感度	Ⓟ	ディエッサーの感度を設定します。 [コンプレッサー / ディエッサー・モード] を [ディエッサー] に設定したときに表示します。 ソフト、 ミディアム 、ハード	✓	✓	✓
中心周波数	Ⓟ	ディエッサーの中心周波数を設定します。 [コンプレッサー / ディエッサー・モード] を [ディエッサー] に設定したときに表示します。 4.0kHz ~ 11.0kHz (6.0kHz)	✓	✓	✓
減衰	Ⓟ	ディエッサーの減衰を設定します。 [コンプレッサー / ディエッサー・モード] を [ディエッサー] に設定したときに表示します。 ソフト、 ミディアム 、ハード	✓	✓	✓
レベル OLED Level	Ⓟ	出力レベルを設定します。 -∞、-120 ~ +10dB (-40dB)	✓	✓	✓
MAXボリューム (出力1のみ)	Ⓟ	最大ボリューム値を設定します。 -∞、-120 ~ +10dB	✓	✓	✓

会議の設定（[会議]）


会議の管理・運営方法に合わせて、会議モードを選択し、詳細設定を行います。

 ・以下の設定項目は[会議セットアップ]の会議の準備にも含まれ、同様の設定ができます。

・フリートークモード [フリートーク]


出席者がDUの「 (トーク) ボタンを押したとき、またはDUが音声を自動検出した場合に発言できるモードです。

・発言要求モード [要求モード]



















出席者がDUの「 (トーク) ボタンを押したときに発言要求の状態となり、会議進行者とその発言要求を許可した場合に発言できるモードです。発言要求を却下することもできます。

このモードで使用するときは、PC等コントロール機器との接続が必要です。

・フルリモートモード [フルリモート]

発言の管理は、すべてウェブリモート上で行うモードです。DUの「 (トーク) ボタンは無効になります。

このモードで使用するときは、PC等コントロール機器との接続が必要です。


項目名	項目説明と設定値（ 太字 はデフォルト値です。）	50CU	IRCU	IRUCUDAN
会議モード	会議モードを選択し、詳細設定を行います。			
会議モード  Conference Mode 	会議モードを選択します。 フリートーク 、要求モード、フルリモート	✓	✓	✓
同時発言マイク (*1)  NOM 	同時に発言できるDUの最大台数です。 1 ~ 10	✓	✓	✓
オート・マイク・オフ (*1)  Auto Mic Off 	発言が終わってから（無音を検知してから）マイクが自動でオフになるまでの時間を設定します。 5 ~ 60sec 、オフ、5秒単位で調整（ オフ ）	✓	✓	✓
優先モード（フリートーク・モード）(*1)  Override Mode 	フリートークの際のオーバーライド(*2)方法を選択します。 先押し優先 、FIFO、LIFO	✓	✓	✓
優先モード（要求モード）(*1)  Override Mode 	要求モードの際のオーバーライド(*2)方法を選択します。 FIFO 、LIFO	✓	✓	✓
優先モード（フルリモート・モード）(*1)  Override Mode 	フルリモートの際のオーバーライド(*2)方法を選択します。 FIFO 、LIFO	✓	✓	✓
マイク待機台数 (*1)  Max Queue 	発言待ち中のDUの最大台数です。 0 ~ 150 (50台)	✓	✓	✓
発言方法／優先マイク発言方法 (*1)  MicON Trigger	すべてのDUに対して、「  (トーク) ボタンを押してマイクをオンにするか、マイクが自動で音声を検知してマイクをオンにするかを切り替えます。 [会議モード]が[要求モード]または[フルリモート]のときは[優先マイク発言方法]となり、プライオリティが[オン]のユーザに対する設定となります。 オルタナイト・モーメンタリー・オートマチック （個別設定*） * 各DUの設定値を元に表示され、すべてのDUが同じ発言方法であれば、そのモードが表示されます。モードが混在する場合は「個別設定」と表示されますが、「個別設定」は機能としては実行できません。	✓	✓	✓
ホールド・タイム (*1)  MicON Hold Time 	[発言方法]の設定が[オートマチック]に設定されているDUで、マイクを自動的にオフにするまでの時間を設定します。発言中に無音が続いた場合、設定した時間が経つとマイクがオフになります。 1.0 ~ 10.0秒 、0.5秒単位で調整（ 2.5秒 ）	✓	✓	✓
優先権設定	プライオリティ(*23ページ)が設定されているDUで「  (トーク) ボタンが長押しされた場合の、効果に関する設定です。			
オフ/ミュート設定 (*1)  Interrupt Option 	プライオリティが設定されているDUで「  (トーク) ボタンが長押しされた場合に、他のDUの発言が中止されるか一時的にミュートされるかを設定します。 オフ 、ミュート	✓	✓	✓

効果音設定		USBデバイス（マストレージデバイス）に保存されたブザーやチャイムなどの音声ファイルを任意に再生することが可能です。 音声ファイルは、最大3個まで登録可能で[音量操作]画面に表示される3つのボタンに割り当てられます。（※34ページ）																					
名称	P	音声ファイルを割り当てるボタンに表示される名前を設定します。 （半角15文字、または全角5文字まで） SFX1～3	✓	✓	✓																		
音源	P	音声ファイルの登録は、以下の手順で行います。 ① 再生したい音声ファイルをUSBデバイス（マストレージデバイス）のルートディレクトリにコピーする（最大30個まで） ② USBデバイス（マストレージデバイス）をCUに接続する ③ [音源]のプルダウンリストから音声ファイルを選択する 再生（*1） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>WAV</td> <td>データ長</td> <td>16bit、24bit</td> </tr> <tr> <td></td> <td>サンプリング周波数</td> <td>48kHz</td> </tr> <tr> <td>MP3（*2）</td> <td>ビットレート</td> <td>32-320kbps</td> </tr> <tr> <td></td> <td>サンプリング周波数</td> <td>48kHz</td> </tr> <tr> <td>最大ファイルサイズ</td> <td></td> <td>2GB</td> </tr> <tr> <td>最大ファイル数</td> <td></td> <td>30ファイル</td> </tr> </table> *1：対応ファイルシステム：FAT16/FAT32 *2：MPEG-1 Audio Layer-3のみ対応しています。	WAV	データ長	16bit、24bit		サンプリング周波数	48kHz	MP3（*2）	ビットレート	32-320kbps		サンプリング周波数	48kHz	最大ファイルサイズ		2GB	最大ファイル数		30ファイル	✓	✓	✓
WAV	データ長	16bit、24bit																					
	サンプリング周波数	48kHz																					
MP3（*2）	ビットレート	32-320kbps																					
	サンプリング周波数	48kHz																					
最大ファイルサイズ		2GB																					
最大ファイル数		30ファイル																					
全マイクオフ時フロアー出力音																							
音源	P	DUがマイク・オフのときに再生される音源を選択します。 オフ 、Mic/Line 2、チャイム*、ピンクノイズ * IRCU、IRCUDANのみ対応しています。	✓	✓	✓																		
レベル	P	DUがマイク・オフのときに再生される音源の音量を選択します。 -∞、-120 ～ +10dB（ 0dB ）	✓	✓	✓																		


*1：設定値の変更について

すべてのDUが[マイク・オフ時]のときに変更が可能です。


*2：オーバーライドについて

同時発言者数が設定した最大値（[同時発言マイク]）に達している状態で新たに「（トーク）ボタンが押されたとき、誰の発言が中止され、誰の発言が許可されるのかを設定します。


FIFO (First-In First-Out)：

現在発言している人の中で、最初に発言を許可された人の発言が中止になり、新たに「（トーク）ボタンを押した人の発言が許可されます。



LIFO (Last-In First-Out)：

現在発言している人の中で、最後に発言を許可された人の発言が中止になり、新たに「（トーク）ボタンを押した人の発言が許可されます。

先押し優先：（要求モード、フルリモートでは選択できません）

新たに「（トーク）ボタンを押した人は「発言待ち」となり、先に発言している人の発言が終了したら発言待ちの順番で新たに発言が許可されます。

DUの設定（[DU/IU]）

項目名	項目説明と設定値（ 太字 はデフォルト値です。）	50CU	IRCU	IRCUDAN
DU/IU共通設定	DUの共通設定をします。IU/IRDUも基本的にはDUの共通設定に準じます。			
スピーカー・レベル  DU SP Output Lvl	スピーカーの出力レベルを一括して設定します。 0 ～ 20（ 10 ）	✓	✓	✓
モニターチャンネルロック  Monitor CH Lock	モニターチャンネル選択ボタンのロック機能を切り替えます。 オン、 オフ	✓	✓	✓

音声検出感度 OLEDD VoiceDetectSens	Ⓟ	オートマチックモードにて音声を自動検出する際の検出レベルを設定します。 -5、-4、-3、-2、-1、0、1、2、3、4、5 (0)	✓	✓	✓
オート (Mic 2 入力連動) OLEDD Auto to Mic2 In	Ⓟ	MIC2入力端子に、暗騒音を入力することで、そのレベルに応じて自動的に音声検出レベルが調整されます。 オン、オフ	✓	✓	✓
ATUC-IRDU設定					
マルチファンクションLED		IRDUのマルチファンクションLEDの色を、オン、待機、オフ/ミュート、許可順の機能ごとに設定します。			
オン	Ⓟ	発言中のマルチファンクションのLEDの色を選択し設定します。 9色 (赤)			
待機	Ⓟ	発言待機中のトークのLEDの色を選択して設定します。 9色 (緑)	-	✓	✓
オフ/ミュート	Ⓟ	優先DUによってオフ/ミュートされた際のLEDの色を選択して設定します。 10色 (黄)			
許可順	Ⓟ	要求モードで発言が許可された際のLEDの色を選択して設定します。 10色 (青)			
ローバッテリー (LED点滅)	Ⓟ	IRDUのバッテリー1,2について、バッテリー減少時にLEDを点滅させるか設定します。 バッテリー1 : オフ バッテリー2 : オン	-	✓	✓
ATUC-50DU設定					
DUトークLED色 (*1)		DUの μ (トーク) LEDの色を設定します。(IUは除く)			
オン	Ⓟ	発言中の μ (トーク) LEDの色を選択して設定します。 10色 (赤)	✓	✓	✓
待機	Ⓟ	発言待機中の μ (トーク) LEDの色を選択して設定します。 10色 (緑)			
ATUC-50IU設定					
非優先IU GPIO	Ⓟ	優先権のないIUのGPIO 0 の設定をします。 GPIO 0、Self Mute	✓	✓	✓
DU/IU個別設定					
リストソート		DU/IU/IRDUを一覧表示し、個別設定をします。 「アクティブ」、「ワイヤード機種優先」、「ワイヤレス機種優先」でリストをソートします。 50CUは「アクティブ」のみ対応しています。	✓	✓	✓
デバイスアイコン		システムに接続されているユニットの種別をアイコンで表示します。	✓	✓	✓
LED		DU/IU/IRDUのLED点灯確認を行います。 対応するアイコンが点灯している間、ATUC-MのリングLED、DUのリアLED、 μ (トーク) LEDが点滅します。	✓	✓	✓
トーク		各DUのトーク状態を確認します。	✓	✓	✓
優先権	Ⓟ	DU/IU/IRDUのプライオリティ(*2)のオン/オフを切り替えます。最大同時発言者数(20ページ)より1台少ない台数までプライオリティをオンにできます。 オン、オフ	✓	✓	✓
シリアル		固有のシリアルナンバーを表示します。	✓	✓	✓
参加者名	Ⓟ	DU/IU/IRDUを識別するための名称(参加者名など)を設定できます。最大半角 30文字(全角 10文字)まで入力できます。(デフォルトは8桁のシリアルナンバー)	✓	✓	✓
グループ	Ⓟ	各DU/IU/IRDUの出力を4つの音声グループに分けることができます。出力先の音声グループは複数選択が可能で、設定によりグループごとにCUの出力端子を変えることもできます。(18ページ) グループ0、グループ1、グループ2、グループ3	✓	✓	✓

色	リアLEDの色を、プルダウンから選択して設定します。 10色(赤)	✓	✓	✓
DU操作 (*3)	リストから1つまたは複数のDU/IUを選択し、以下の操作を行います。 詳細設定編集、コピー、確認、全選択、全解除、消去	✓	✓	✓

*1：設定値の変更について

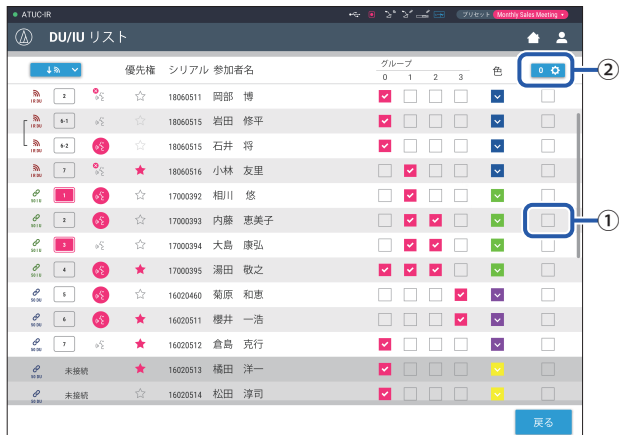
すべてのDU/IUが[マイク・オフ時]のときに変更が可能です。

*2：プライオリティについて

プライオリティをOnに設定されたDU/IUでは以下の権限が与えられます。

- 常に発言可能な状態にできます。
- 他の参加者の発言を一括で中止したり、一時的に音声をミュートしたりできます。
例えば、議事進行権を持つ議長や、常に発言の許される会社役員などが使用するDU/IUに設定します。

*3：DU/IU操作について




1 設定を変更したいDU/IUの①をクリックする。

チェックマークが表示されます。

複数のDU/IUを選択して、一括で操作することもできます。

2 ②をクリックして、プルダウンメニューから以下の操作を行う。

 ②に表示されている数字は、選択されているDU/IUの台数です。

詳細設定編集：

選択したDU/IUの詳細設定を行います(下記、DU/IUの詳細設定([DU/IU詳細設定])の表を参照)。複数のDU/IUを選択した場合、1台でもDU/IUの設定値が異なる項目はグレー表示されます。

- グレー表示が解除されない場合：各DU/IUの設定値を保持します。
- 操作後にグレー表示が解除された場合：選択したすべてのDU/IUの設定値が表示されている値になります。

コピー：

選択したDU/IUの設定を他のDU/IUにコピーします。

- ① コピー元のDUを1台選択する。
- ② プルダウンメニューから[コピー]を選択する。
DU/IUを選択するチェックボックス以外操作できなくなります。
- ③ コピー先のDU/IUを選択する。
複数のDU/IUを選択することもできます。
- ④ [貼り付け] ボタンを押す。

消去：

選択したDU/IUをリストから消去します。非接続状態のDU/IUを選択した場合のみ、消去できます。

全選択：

すべてのDU/IUを選択状態にします。

全解除：

すべてのDU/IUの選択状態を解除します。

 • DU/IUの選択状態によって、上記の選択項目の一部が表示されないことがあります。

DU/IUの詳細設定 ([DU/IU詳細設定])

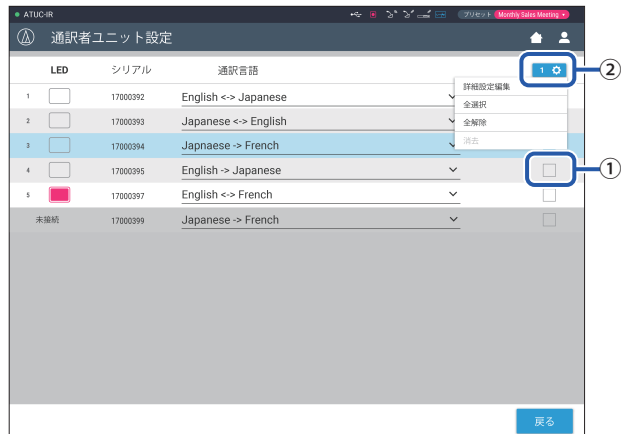
項目名	項目説明と設定値 (太字 はデフォルト値です。)	IRDU	50DU	50IU
マイク	マイクに関する設定を行います。			
レベル	レベルをレベルメーターで表示します。	✓	✓	✓
入力ゲイン	マイクに適用されるインプットゲインを設定します。 -20 ~ +20dB (0dB)	✓	✓	✓
AGC	AGC (Automatic Gain Control) のオン/オフを設定します。 オン、 オフ ご注意 ・ [AGC] を [オン] で使用する場合は、[スピーカー] の [発言時スピーカー設定] の設定を [減衰] または [オフ] にしてください。	✓	✓	✓
EQライブラリー	マイク入力に適用するEQのパターンを設定します。 フラット 、ナチュラル_男、ナチュラル_女、クリアー_男、クリアー_女、ウォーム_男、ウォーム_女、ESシリーズ、ユニポイント、(IPコントロール*) * IP コントロール機能でEQ調整した場合、[IPコントロール] と表示されます。プルダウンリストからは選択できません。	✓	✓	✓
発言方法	ボタン操作または音声自動検知のどちらによってマイクをオンにするかを設定します。 オートマチック・ オルタネイト ・モメンタリー	✓	✓	✓
ファントム電源	マイクへのファントム電源の供給の有無を設定します。 オン 、オフ	✓	✓	✓
スピーカー				
オン	DU/IUのスピーカーのオン/オフを切り替えます。 オン 、オフ	✓	✓	✓
発言時スピーカー設定	出席者自身が発言している間のスピーカーのモードを切り替えます。[減衰] を選択すると、音量を20dB下げた出力します (この項目は、[スピーカー] が [オン] の場合に表示されます)。 オン、 減衰 、オフ	✓	✓	✓
グループ	DU/IUからCUへ送られる音声信号の出力先のグループ化に関する設定です。			
アサイン	音声信号を振り分ける4つの音声グループを指定します。グループは複数選択可能で、グループごとに出力先を選択できます。(18ページ) グループ0 、グループ1、グループ2、グループ3	✓	✓	✓
デフォルトモード	DU起動時、モニターチャンネル固定時のチャンネルを設定します。	✓	✓ (DUaのみ)	—
背面LED色 (DUのみの設定項目です)				
オン	背面LEDのオン、オフを設定します。 IRCU/IRCUDANを使用している場合に表示されます。 オン 、オフ	✓	✓	—
マイク・オン時/待機時	リアLEDの色を、プルダウンから選択して設定します。 10色 (赤)	✓	✓	—
マイク・オフ時	マイク・オフ時の点灯方法を設定します。 オフ 、ディマー	✓	✓	—
2人使用モード				
オン、オフ	2人で使用するかどうかを設定します。 *Onの時、優先権は自動的にOffになります。 オン 、 オフ	✓	—	—

優先権		プライオリティ(※23ページ)に関する設定です。			
オン	Ⓟ	プライオリティのオン/オフを設定します。最大同時発言者数(※20ページ)より1台少ない台数に対してプライオリティをオンにできます。 オン、オフ	✓	✓	✓
オフ/ミュートする	Ⓟ	プライオリティ設定されたDUが、他のDUの発言を中止または一時的にミュートできるかどうかを設定します。 オン、オフ	✓	✓	✓
オフ/ミュートされる	Ⓟ	プライオリティ設定されたDUが、他のDUから発言を中止または一時的にミュートされるかどうかを設定します。 オン、オフ	✓	✓	✓
起動時マイクオン	Ⓟ	DU起動時に、マイクをオンにします。 IRCU/IRCUDANを使用している場合に表示されます。 オン、オフ	✓	✓	✓
左ボタン割り当て	Ⓟ	左ボタンに割り当てる機能を選択します。 オフ/ミュート、許可順	✓	—	—
GPIピン設定 (IUのみの設定項目です)					
GPI 0~7	Ⓟ	GPIポート0からポート7までに割り当てる機能を設定します。 GPI x (x はポート番号0~7) : 汎用入力ピンとして使用します Self Mute : 自身のマイクの音声をミュート(セルフミュート)します Permit Next : 最上位の発言要求者の発言を許可します Undo Permit Next : 一つ前の発言許可を取り消します Master Volume Up : マスターレベルの音量を上げます Master Volume Down : マスターレベルの音量を下げます Recall Preset 1 : プリセット1を選択・呼び出します Recall Preset 2 : プリセット2を選択・呼び出します Recall Preset 3 : プリセット3を選択・呼び出します Recall Preset 4 : プリセット4を選択・呼び出します Recall Preset 5 : プリセット5を選択・呼び出します Recall Preset 6 : プリセット6を選択・呼び出します Recall Preset 7 : プリセット7を選択・呼び出します Recall Preset 8 : プリセット8を選択・呼び出します REC Start : 録音を開始します REC Stop : 録音を停止します SFX 1 : 効果音 1を再生、停止します SFX 2 : 効果音 2を再生、停止します SFX 3 : 効果音 3を再生、停止します Mic/Line 1 Mute : Mic/Line 1をミュートします Mic/Line 2 Mute : Mic/Line 2をミュートします	—	—	✓

同時通訳の設定 ([同時通訳])

項目名	項目説明と設定値 (太字はデフォルト値です。)	50CU	IRCU	IRCUDAN
同時通訳設定	通訳モードを設定します。			
同時通訳モード	2言語 、3言語	✓	✓	✓
簡易モード	通訳者の音声からフロアーの音声へ自動的に切り替えます。 [オン]に設定した場合、例えば、通訳音声を言語グループ1へ出力しているINTが全てマイク・オフになると、自動的にフロアー音声言語グループ1へ出力されます。 オン、オフ	✓	✓	✓
言語名		✓	✓	✓
グループ1	グループ1の言語名を設定します。 (半角15文字まで) Language 1	✓	✓	✓
グループ2	グループ2の言語名を設定します。 (半角15文字まで) Language 2	✓	✓	✓
グループ3	グループ3の言語名を設定します。 (半角15文字まで) Language 3 ご注意 ・同時通訳モードで「3言語」を選択しているときのみ表示されます。	✓	✓	✓
優先モード	同一設定の通訳者ユニット間における優先モードを設定します。 後押し優先、先押し優先、ミックス	✓	✓	✓
通訳者ユニット設定 (最大6台)	INTの個別設定をします。			
通訳者ユニット・リスト	システムに接続されているすべてのINTの設定情報がリスト表示され、確認および変更ができます。	✓	✓	✓
LED	INTのLED点灯確認を行います。 対応するアイコンが点灯している間、ATUC-MのリングLED、INTのリアLED、(トーク)LEDが点滅します。	✓	✓	✓
シリアル	固有のシリアルナンバーを表示します。	✓	✓	✓
通訳言語	通訳する言語のパターンを選択します。選択リストでは[言語名]で設定した言語名が表示されます。 また、選択項目数やパターンは[同時通訳モード]の設定値によります。 同時通訳モードが2言語の場合： 1: Language 1 <-> 2: Language 2、 1: Language 1 -> 2: Language 2、 2: Language 2 -> 1: Language 1 同時通訳モードが3言語の場合： 1: Language 1 <-> 2: Language 2、 1: Language 1 <-> 3: Language 3、 2: Language 2 <-> 3: Language 3、 1: Language 1 -> 2: Language 2、 2: Language 2 -> 1: Language 1、 1: Language 1 -> 3: Language 3、 3: Language 3 -> 1: Language 1、 2: Language 2 -> 3: Language 3、 3: Language 3 -> 2: Language 2	✓	✓	✓
通訳者ユニット設定操作 (*1)		✓	✓	✓

*1:通訳者ユニット設定操作について



1 設定を変更したいINTの①をクリックする。

チェックマークが表示されます。
複数のINTを選択して、一括で操作することもできます。

2 ②をクリックして、プルダウンメニューから以下の操作を行う。

• ②に表示されている数字は、選択されているINTの台数です。

詳細設定編集：

選択したINTの詳細設定を行います(下記、INTの詳細設定([通訳者ユニット詳細設定])の表を参照)。複数のINTを選択した場合、1台でもINTの設定値が異なる項目はグレー表示されます。

- グレー表示が解除されない場合：各INTの設定値を保持します。
- 操作後にグレー表示が解除された場合：選択したすべてのINTの設定値が表示されている値になります。

全選択：

すべてのINTを選択状態にします。

全解除：

すべてのINTの選択状態を解除します。

消去：

選択したINTをリストから消去します。非接続状態のINTを選択した場合のみ、消去できます。

- INTの選択状態によって、上記の選択項目の一部が表示されないことがあります。
- INTの設定を他のINTにコピーする機能はありません。

通訳者ユニットの詳細設定 ([通訳者ユニット詳細設定])

項目名	項目説明と設定値 (太字はデフォルト値です。)
マイク	INTのマイクに関する設定を行います。
レベルメーター	レベルをレベルメーターで表示します。
入力ゲイン	マイクに適用されるインプットゲインを設定します。 -20 ~ +20dB (0dB)
AGC	AGC (Automatic Gain Control) のオン/オフを設定します。 オン、オフ
EQライブラリー	マイク入力に適用するEQ のパターンを設定します。 フラット 、ナチュラル_男、ナチュラル_女、クリアー_男、クリアー_女、ウォーム_男、ウォーム_女、ESシリーズ、ユニポイント、(IPコントロール*) * IP コントロール機能でEQ調整した場合、[IPコントロール]と表示されます。プルダウンリストからは選択できません。
ファントム電源	マイクへのファントム電源の供給の有無を設定します。 オン、オフ

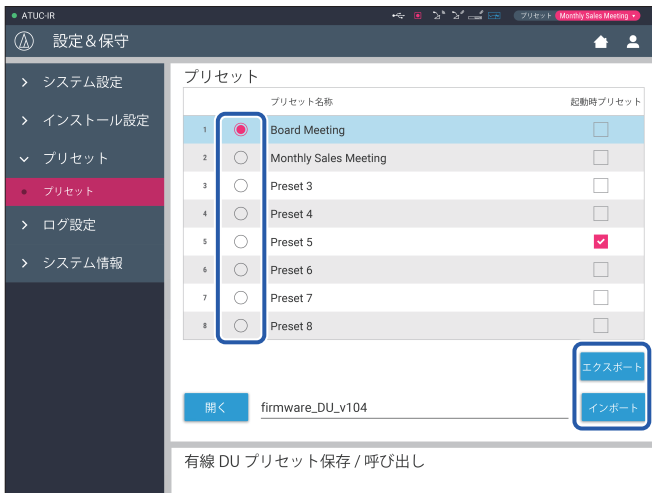
録音設定 ([録音])

注意 • 録音設定は、録音停止中のみ変更可能です。

項目名	項目説明と設定値 (太字 はデフォルト値です。)
レコーダー設定	
フォーマット OLE Rec Format Ⓟ	会議音声を録音するフォーマットを選びます。 WAV 、MP3
ビットレート OLE RecordingQuality Ⓟ	録音フォーマットがMP3の場合の、録音される音声のビットレートを設定します。 64、128、192、256、 320 kbps
録音チャンネル数 (WAV) OLE No.of Rec CH	録音フォーマットがWAVの場合の、録音する音声のチャンネル数を設定します。 1 ~ 4
録音チャンネル数 (MP3) OLE No.of Rec CH	録音フォーマットがMP3の場合の、録音する音声のチャンネル数を設定します。 1 ~ 2
録音ソース Track1、Track2、Track3、Track4 OLE Rec Source CH1-CH4 Ⓟ	チャンネルごとの録音ソースを設定します。 フロアー 、グループ0、グループ1、グループ2、グループ3、言語1、言語2、言語3、遠隔言語1、遠隔言語2、Mic/Line 1、Mic/Line 2、Mic/Line 1&2 Mix
オート・トラック OLE Auto Track Ⓟ	録音中、設定された時間ごとに録音ファイルを区切って作成するかどうかを設定します。 オフ 、15、30 min、1、2 hour
録音ファイル名称 OLE Filename Prefix Ⓟ	録音した音声ファイル名の接頭文字列 (プレフィックス) を設定します。 最大半角30文字で入力できます。(ファイル名に使用できない文字 (ATUC-50/ATUC-IR取扱説明書 (本体編)) を除く、デフォルトは atuc-50)

プリセットを操作する ([プリセット])

プリセットの呼び出しや保存、外部とのプリセットデータのインポート/エクスポートを行います。



- 1 選択したいプリセット番号の右の○をクリックする。
○が赤く点灯し、選択されたプリセットが水色でハイライトされます。

- 2 実行したい操作を選んでクリックする。

以下の各動作が実行されます。

エクスポート (Export Presets) :

外部へ書き出したいプリセットの設定データをエクスポートできます。ポップアップウィンドウから、データの書出し先のフォルダーを選択します。

インポート (Import Presets) :

外部へ書き出したプリセットの設定データをインポートできます。ポップアップウィンドウに表示されたファイルの中から、インポートしたいプリセットデータファイルを選択します。

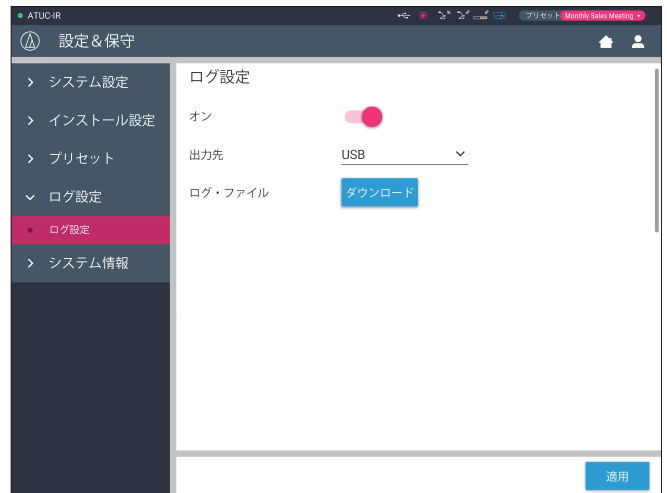
- プリセット名をクリックすると、プリセット名を変更できます。最大半角 30 文字、全角 10 文字です。
- システム起動時に、特定のプリセット呼び出して設定を行いたい場合は、そのプリセット番号にチェックマークを入れてください。

- 3 「有線DUプリセット保存/呼び出し」の項目を設定する。

プリセット登録を、トポロジーとシリアル番号のどちらに紐付けて行うかを設定できます。(トポロジー、シリアル番号)

ログを管理する ([ログ設定])

システムログに関する設定とログファイルのダウンロードを行います。



オン (Logging) :

システムログを保存するかどうかの設定です。(オン、オフ)

出力先 (Destination) :

ログファイルをUSB機器 (マストレージデバイス) へエクスポートするかどうかを設定します。(内部、USB)

ログ・ファイル:

ダウンロード先を選択して、ログファイルをダウンロードします。

システム情報を表示する ([システム情報])

各種ネットワーク設定、製品のシリアル番号やファームウェアバージョンなど、システムに関する情報を表示します。



会議の準備をする （[会議セットアップ]）

様々なタイプの会議に1つの会議システムで対応する場合、あらかじめ会議のタイプに応じた設定をプリセットしておくことで便利です。会議開催時にはプリセットを呼び出すだけで基本的な会議の準備が完了します。

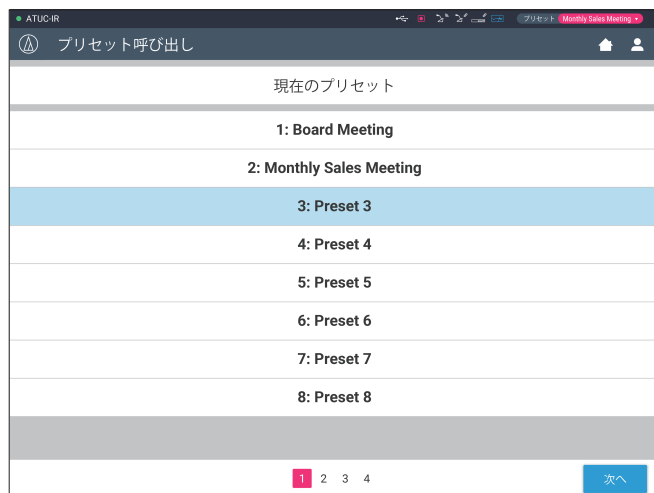
プリセットは、8パターンまで登録可能です。

また、必要に応じてプリセットから呼び出した設定に変更を加えることも可能です。

プリセットを活用して、3つのステップで会議の準備を行います。


1 プリセットを呼び出す（[プリセット呼び出し]）

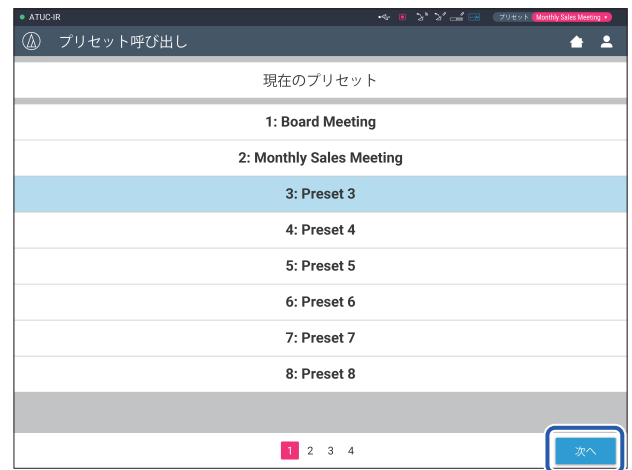
ホーム画面（6ページ）[会議セットアップ]をクリックすると、[プリセット呼び出し]画面が表示されます。



「現在の設定（前回の会議の設定）」や「登録されているプリセット設定」を使用して会議を開始するには、下記の手順に従って[会議マネージャー]画面を表示させます。

1 [プリセット呼び出し]画面で[現在のプリセット]または使用したいプリセットを選択して、[次へ]をクリックする。

-  現在の設定をベースに会議の設定を行いたい場合は、[現在のプリセット]を選択してください。



プリセットが呼び出され、[会議設定]画面が表示されます。

2 会議の設定を変更する（[会議設定]）

1 必要に応じて設定を変更し、[次へ]をクリックする。



変更が保存され、[DU/IU設定]画面に進みます。

3 DU/IUの設定を変更する（[DU/IU設定]、[DU/IU詳細設定]）

DU/IUの設定（[DU/IU設定]）とDU/IUの詳細設定（[DU/IU詳細設定]）を行います。

1 必要に応じて設定を変更する。

詳細設定をする場合：

手順2に進む。

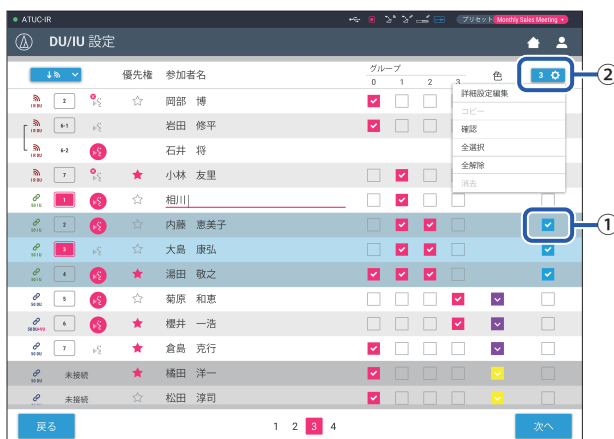
詳細設定をせずに設定を終了する場合：

[次へ] ボタン→[完了] をクリックする。



- 各設定項目については、[DU/IU設定] の項目一覧を参照してください（p21 ページ）。

2 詳細設定を変更したいDU/IU（複数選択可）の①をクリックして、✓マークを入れる。

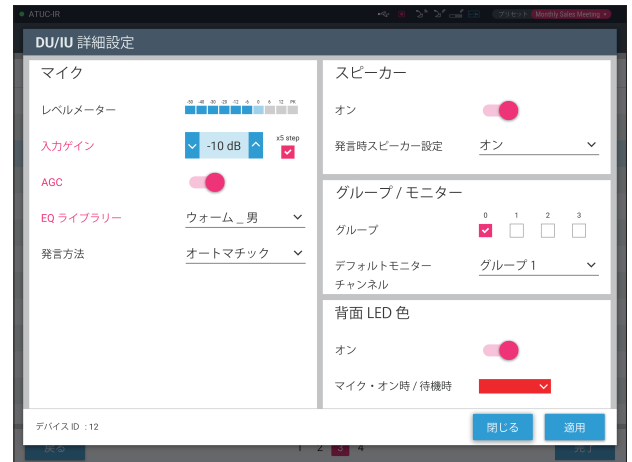


- ②のプルダウンメニューから、すべてのDU/IUを選択／選択解除することもできます。
- ②に表示されている数字は、選択されているDU/IUの台数です。
- ログインしている操作者にこの設定へのアクセス権がない場合は、①と②は表示されません。

3 ②のプルダウンメニューから [詳細設定編集] をクリックする。

[DU/IU詳細設定] 画面が表示され、選択したDU/IUの詳細設定を行えます。

4 DU/IUの詳細設定を行い、[適用] をクリックして変更を確定する。



[DU/IU設定] 画面に戻ります。

- 各設定項目については、[DU/IU詳細設定] の項目一覧を参照してください（p24 ページ）。
- 複数のDU/IUを選択した場合、1台でもDU/IUの設定値が異なる項目はグレー表示されます。グレー表示された項目は設定できません。
- DU/IUの [ファントム電源] は、[設定 & 保守] → [インストール設定] → [DU/IU] → [DU/IU個別設定] → [DU/IUリスト] → [詳細設定編集] → [DU/IU詳細設定] から設定できます（p24 ページ）。



5 画面右下の [完了] をクリックする。

[会議開始] の [会議マネージャー]（p33 ページ）画面が表示され、会議を開始できる状態になります。




録音に関する操作:

会議の録音操作(録音開始、停止など)は、この[会議マネージャー]画面でも[音量操作]画面(※34ページ)でも行えます。オーディオに関する詳細設定も併せて行う場合は、[音量操作]画面での操作が便利です。

[会議マネージャー]画面のフッターにある、以下の3つのアイコンで操作します。

-  **録音・一時停止ボタン**
録音を開始・一時停止します。押すたびに切り換わります。
-  **停止ボタン**
録音を停止します。

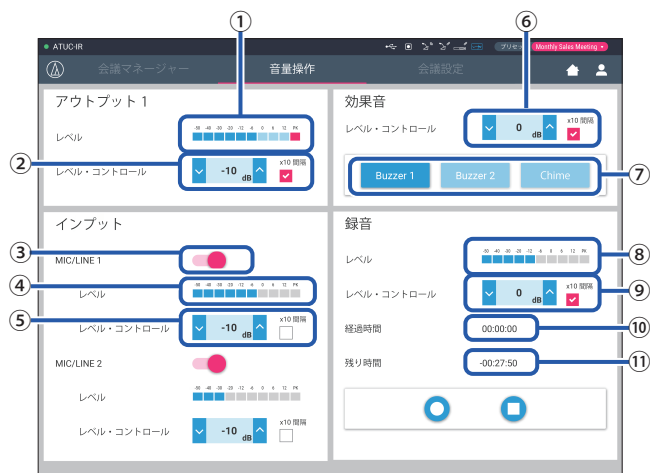
ボタンの表示色について:

-  この色で表示されているときは、操作できません。
-  この色で表示されているときは、操作できます。
-  ボタンの機能が動作しているとき、またはボタンをクリックしたときは、この色で表示されます。

2 オーディオに関する設定や操作を行う ([音量操作])


[音量操作]タブをクリックすると、[音量操作]画面が表示されます。

録音操作からオーディオに関する詳細設定まで、音声に関する設定や操作を一画面で行えます。



- ① Output 1のレベルメーターです。Output 1から出力される音声のレベルを表示します。
- ② Output1のレベルを調整します。レベルメーター①の赤いポイント(PK)が点灯しないように調整してください。
- ③ MIC/LINE 1のオン/オフを設定します。
- ④ Inputのレベルメーターです。MIC/LINE 1に入力される音声のレベルを表示します。
- ⑤ Inputのレベルを調整します。レベルメーター④の赤いポイント(PK)が点灯しないように調整してください。
- ⑥ レベルメーター①などで確認しながら、SFXの再生レベルを調整します。

- ⑦ SFXの操作ボタンです。[会議設定](※31ページ)で設定した音声ファイルを再生します。再生中にそのボタンをクリックすると、再生が停止します。
- ⑧ 録音レベルメーターです。録音中の音声のレベルを表示します。(録音停止時にも、音声入力があれば表示します。)
- ⑨ 録音レベルを調整します。録音レベルメーター⑧の赤いポイント(PK)が点灯しないように調整してください。
- ⑩ 録音経過時間です。
- ⑪ 録音可能残時間です。

 ・上記①～⑧以外の操作や設定は、[会議マネージャー]画面(※33ページ)と同じです。

3 会議の設定をする ([会議設定])

[会議設定]タブをクリックすると、[会議設定]画面が表示されます。

会議の管理・運営方法に合わせて、会議モードを選択し、詳細設定を行います。

操作や設定は、[設定 & 保守] → [インストール設定] → [会議](※20ページ)と同じです。

困ったときは

■ 故障かな?と思ったら

問題が発生したときは、まず下記を確認してください。

1. 接続は正しいですか。
2. 取扱説明書に記載されているとおりにシステムを運用していますか。
3. 外部機器は正しく動作していますか。CUに接続しない状態で動作確認をしてください。
4. ネットワーク機器を再起動してください。

システム上のいずれかの機器が正しく動作しない場合は、下記の表を確認してください。

この表に該当する項目がない場合は、当社営業窓口までお問い合わせください。

お問い合わせの際にファームウェアのバージョンが必要な場合があります。あらかじめファームウェアのバージョンを以下から確認してください。

ウェブリモートで確認する場合：

[設定 & 保守] → [システム設定] → [ユーティリティ]

もしくは

[設定 & 保守] → [システム情報]

症状	原因／対策	参照ページ
ウェブリモートコントロールしたいCUをLocateで認識できない。	CUおよびPCなどのコントロール機器の各接続を確認してください。	ATUC-50/ ATUC-IR 取扱説明書 (本体編)
	CUとPCなどのコントロール機器が同じネットワークに接続されていることを確認してください。	-
ウェブリモートコントロールしたいCUの表示がLocateでグレースアウトされている。	CUがカスケード接続されて、CUリンクが機能している場合、[一般] → [CUリンク設定] の [親機/子機] で [子機] に設定されているCUは、“Locate”の表示がグレースアウトします。 設定を再度確認してください。	8ページ
ウェブリモートをiPadやタブレットなどのコントロール機器から開けない。	コントロール機器が正しいアクセスポイントに接続されていることを確認してください。	-
	CUとiPadやタブレットなどのコントロール機器が同じネットワークに接続されていることを確認してください。	-
パスワードを忘れてしまった。	以下の手順でパスワードを強制解除してください。 ① CUのHOME画面を表示させ、BACK (戻る) ボタンを押したまま、ダイヤルを右に3クリック分まわす。 ② BACK (戻る) ボタンを押したまま、ダイヤルを左に3クリック分まわす。 ③ BACK (戻る) ボタンを押したまま、ENTER (エンター) ボタンを押す。	ATUC-50/ ATUC-IR 取扱説明書 (本体編)

■ エラーメッセージ一覧

- ウェブリモートおよびCUディスプレイに表示されるエラーメッセージは以下のとおりです。
- CUのLEDインジケーターによる異常時表示もCUディスプレイの欄に併記しています。
- 「対処方法」にしたがって確認しても、繰り返し同じエラーが発生する場合、または部品の交換、製品の修理が必要な場合は、当社営業窓口までお問い合わせください。

	ウェブリモート	CUディスプレイ (LEDインジケーター)	内容／対処方法
1	Resume Data Error	Resume Data Err	レジュームデータの読み込みに失敗しました。 • 前々回の設定、もしくはデフォルト設定で起動しました。機能的な制限はありませんが、再起動時に同じエラーが発生しないか確認してください。
2	Preset Data Error	Pst Data Err	プリセットデータの読み込みに失敗しました。 • プリセットデータは、前回読み込みに成功したプリセット、もしくはデフォルト時のプリセットとなります。機能的な制限はありませんが、再起動時に同じエラーが発生しないか確認してください。
3	DU電源エラー	DU Power Err (DU CHAIN：緑に点滅)	DU電源供給に異常が発生しました。 • 48V出力系統で電圧降下しているおそれがあります。 ① DUの接続をすべて解除してから、CUを再起動して同じエラーが発生する場合は、CUの修理が必要となります。 ② ①でエラーが発生せず、DUを再接続後、CUを再起動して同じエラーが発生する場合は、ケーブル不良またはDUの不良の可能性がります。問題のあるケーブルまたはDUを特定して、交換・修理してください。
4	DU接続エラー	DU Comm Err (DU CHAIN：緑に点滅)	DUの個別設定ができません。 • DUの接続に問題がないか確認してください。
5	DU接続 リングからデジジー・チェーン	DU Ring to Daisy (DU CHAIN：緑に点滅)	DUのトポロジーが変更されました(リングからデジジー)。 • DUの接続変更を行わずにこのエラーが発生した場合は、DUの接続に問題がないか確認してください。
6	DU接続 デジジー・チェーンからリング	DU Daisy to Ring (DU CHAIN：緑に点滅)	DUのトポロジーが変更されました(デジジーからリング)。 • DUの接続変更を行わずにこのエラーが発生した場合は、DUの接続に問題がないか確認してください。
7	DU接続台数が減りました	DU Number Decrease (DU CHAIN：緑に点滅)	DUの接続台数が減少しました。 • DUの接続変更を行わずにこのエラーが発生した場合は、DUの接続に問題がないか確認してください。
8	DU接続台数が100台を超過しています	DU Exceeds 100pcs (DU CHAIN：緑に点滅)	DU CHAIN A/B/C/D端子に接続されている台数の合計が100台を超過しています。 • 台数の合計が100台以下となるよう接続を変更してください。
9	INT接続台数が6台を超過しています	INT Exceeds 6pcs (DU CHAIN：緑に点滅)	DU CHAIN A/B/C/D端子に接続されているINTの台数の合計が6台を超過しています。 • 台数の合計が6台以下となるよう接続を変更してください。
10	A/BポートのDU接続台数が50台を超過しています	DU A/B Exceeds 50pcs (DU CHAIN：緑に点滅)	DU CHAIN A/B端子に接続されている台数が50台を超過しています。 • それぞれ台数が50台以下となるよう接続を変更してください。
11	C/DポートのDU接続台数が50台を超過しています	DU C/D Exceeds 50pcs (DU CHAIN：緑に点滅)	DU CHAIN C/D端子に接続されている台数が50台を超過しています。 • それぞれ台数が50台以下となるよう接続を変更してください。
12	CU接続エラー	CU Comm Err (CU LINK：緑に点滅)	CU間の通信に異常が発生しました。 • CU間の接続に問題がないか確認してください。
13	CUリンク・オフ	CU Link OFF (CU LINK：緑に点滅)	CUリンクが解除されました。 • 意図せずこのエラーが発生した場合は、CU間の接続に問題がないか確認してください。
14	ネットワーク・エラー	Network Comm Err (REMOTE：緑に点滅)	(1) ネットワーク通信に異常が発生しました。 (2) IPコマンド通信に異常が発生しました。 • ネットワーク接続に問題がないか確認してください。

	ウェブリモート	CUディスプレイ (LEDインジケータ)	内容／対処方法
15	USB接続エラー	USB Access Err	USBデバイスへのアクセス時に異常が発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • USBデバイスに問題がないか確認してください。 • 別のUSBデバイスで同じエラーが発生しないか確認してください。
16	USBフォーマット・エラー	USB Format Err	USBデバイスのフォーマットに問題があります。 <ul style="list-style-type: none"> • USBデバイスのフォーマットを確認してください。 • FAT16、FAT32でフォーマットされたUSBデバイスを使用してください。
17	失敗。	Failed	(1) 何らかのシステム要因で設定できません。 <ul style="list-style-type: none"> • 再操作してエラーが発生するか確認してください。 (2) 再生できません。 <ul style="list-style-type: none"> • USBデバイスが装着されているか確認してください。 • USBデバイス内に再生するファイルがあるか確認してください。 • 再生するファイルのフォーマットが正しいか確認してください。(例えば、別の再生機器で再生できるか確認する) (3) 録音できません。 <ul style="list-style-type: none"> • USBデバイスが装着されているか確認してください。 • USBデバイスが書き込み禁止になっていないか確認してください。 • USBデバイスの空き容量を確認してください。 • USBデバイスに問題がないか確認してください。 • 別のUSBデバイスで同じエラーが発生しないか確認してください。
	ファイル・エクスポート失敗		(4) プリセットファイルがエクスポートできません。 <ul style="list-style-type: none"> • USBデバイスに問題がないか確認してください。 • 別のUSBデバイスで同じエラーが発生しないか確認してください。
	ファイル・インポート失敗		(5) プリセットファイルがインポートできません。 <ul style="list-style-type: none"> • USBデバイスに問題がないか確認してください。 • 別のUSBデバイスで同じエラーが発生しないか確認してください。
20	ログ設定：USB書き込みエラー	USB Write Err	データログがUSBメモリーに保存できません。 <ul style="list-style-type: none"> • USBデバイスが装着されているか確認してください。 • USBデバイスが書き込み禁止になっていないか確認してください。 • USBデバイスの空き容量を確認してください。 • USBデバイスに問題がないか確認してください。 • 別のUSBデバイスで同じエラーが発生しないか確認してください。
21	失敗。電源をお切り下さい。	CU FW Update Err Please Turn Pwr OFF	CUのファームウェアアップデート時に異常が発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源をOFF後、再起動してください。
22	失敗。電源をお切り下さい。	IRCU FW Update Err Please Turn Pwr OFF	IRCUのファームウェアアップデート時に異常が発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源をOFF後、再起動してください。
23	失敗。電源をお切り下さい。	DU FW Update Err Please Turn Pwr OFF	DUのファームウェアアップデート時に異常が発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源をOFF後、再起動してください。 (1台目のアップデートが開始できない、または途中でエラーがありそれ以上進めなくなった場合)
24	失敗。電源をお切り下さい。	DUa FW Update Err Please Turn Pwr OFF	DUaのファームウェアアップデート時に異常が発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源をOFF後、再起動してください。 (1台目のアップデートが開始できない、または途中でエラーがありそれ以上進めなくなった場合)
25	失敗。電源をお切り下さい。	INT FW Update Err Please Turn Pwr OFF	INTのファームウェアアップデート時に異常が発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源をOFF後、再起動してください。 (1台目のアップデートが開始できない、または途中でエラーがありそれ以上進めなくなった場合)
26	失敗。電源をお切り下さい。	IU FW Update Err Please Turn Pwr OFF	IUのファームウェアアップデート時に異常が発生しました。 <ul style="list-style-type: none"> • 電源をOFF後、再起動してください。 (1台目のアップデートが開始できない、または途中でエラーがありそれ以上進めなくなった場合)

	ウェブリモート	CUディスプレイ (LEDインジケータ)	内容／対処方法
27	以下のシリアル番号を除き、完了。電源をお切りください。 XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX (アップデートできないDUのシリアル番号(8桁)が一覧表示されます。)	Part of DU Failed Please Turn Pwr OFF	DUのファームウェアアップデートは完了しましたが、アップデートできなかったDUがありました。 ①ポップアップウインドウに、アップデートできなかったDUのシリアル番号が一覧表示されるので、それらを記録してください。 ②電源をOFFしてください。 ③記録したシリアル番号のDUを取り外してください。 ④③で取り外したDUの強制アップデートを行ってください。 強制アップデート方法につきましては、当社営業窓口までお問い合わせください。
28	以下のシリアル番号を除き、完了。電源をお切りください。 XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX (アップデートできないDUaのシリアル番号(8桁)が一覧表示されます。)	Part of DUa Failed Please Turn Pwr OFF	DUaのファームウェアアップデートは完了しましたが、アップデートできなかったDUaがありました。 ①ポップアップウインドウに、アップデートできなかったDUaのシリアル番号が一覧表示されるので、それらを記録してください。 ②電源をOFFしてください。 ③記録したシリアル番号のDUaを取り外してください。 ④③で取り外したDUaの強制アップデートを行ってください。 強制アップデート方法につきましては、当社営業窓口までお問い合わせください。
29	以下のシリアル番号を除き、完了。電源をお切りください。 XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX (アップデートできないINTのシリアル番号(8桁)が一覧表示されます。)	Part of INT Failed Please Turn Pwr OFF	INTのファームウェアアップデートは完了しましたが、アップデートできなかったINTがありました。 ①ポップアップウインドウに、アップデートできなかったINTのシリアル番号が一覧表示されるので、それらを記録してください。 ②電源をOFFしてください。 ③記録したシリアル番号のINTを取り外してください。 ④③で取り外したINTの強制アップデートを行ってください。 強制アップデート方法につきましては、当社営業窓口までお問い合わせください。
30	以下のシリアル番号を除き、完了。電源をお切りください。 XXXXXXXXXX XXXXXXXXXX (アップデートできないIUのシリアル番号(8桁)が一覧表示されます。)	Part of IU Failed Please Turn Pwr OFF	IUのファームウェアアップデートは完了しましたが、アップデートできなかったIUがありました。 ①ポップアップウインドウに、アップデートできなかったIUのシリアル番号が一覧表示されるので、それらを記録してください。 ②電源をOFFしてください。 ③記録したシリアル番号のIUを取り外してください。 ④③で取り外したIUの強制アップデートを行ってください。 強制アップデート方法につきましては、当社営業窓口までお問い合わせください。
31	Data acquisition error.	Data Acquisition Err	ウェブリモートの操作やCUディスプレイの操作時にデータの取得に失敗しました。 •再操作してエラーが発生するか確認してください。
32	設定出来ません。	Unable to Set	(1) 文字列に禁止文字が含まれているため設定できません。 •禁止文字を文字列から削除してください。 (2) 入力した値が範囲外、または変更禁止状態のため設定できません。 •範囲内の値を入力してください。 •機器の状態を確認し、変更可能な状態であれば、再操作してエラーが発生するか確認してください。
		Can't.ReducePriority	(3) [同時発言マイク] (NOM) が現在のプライオリティ数との関係で変更できません。 •別の台数を設定するか、DUのプライオリティ設定を見直してください。
33	変更を適用するために全てのマイクをオフにする必要があります。 適用しますか？	Turn OFF All DU?	(4) 録音中／録音一時停止中／ファイル書込み中により、録音に関する設定が変更できません。 •録音停止してから再操作してください。 (5) 設定変更するためには、すべてのDUのマイクをオフにする必要があります。 •[はい]を選択すると、すべてのDUに対して強制的にマイクがオフされ、設定が変更されます。

	ウェブリモート	CUディスプレイ (LEDインジケータ)	内容/対処方法
34	制御出来ません。	Unable to Ctrl	(1)録音中/録音一時停止中/ファイル書き込み中により、操作できません。 (2)その他理由で操作できません。(設定変更以外の操作ができません) •録音停止してから再操作してください。
35	IRDU台数有効赤外線チャンネル超過	Pst Recall Err	プリセットファイルが読み込めません。[同時発言マイク]の数が、有効な[IRDUチャンネル]の数を超過しています。 •[赤外線設定]の[使用可能赤外線周波数チャンネル制限]の設定を[オフ]にしてください。
36	Dante接続エラー	Dante Comm Err	Danteボードとの通信に異常が発生しました •電源をOFF後、再起動してください。再起動時に同じエラーが発生しないか確認してください。
37	優先権の超過です。減らしてください	-	CUリンクにより、プライオリティ設定されているDUの数が設定値を超えました。プライオリティ設定されているDUの数を減らします。(いくつかのDUのプライオリティ設定を解除します) •プライオリティ設定されているDUを確認し、必要に応じて設定を変更してください。
38	設定出来ません。優先権数の超過です。	-	プライオリティ設定できるDUの数は、[同時発言マイク] (NOM) の設定値よりも1台少ない台数までです。現在の設定値では、これ以上、プライオリティ設定されたDUを増やせません。 •NOMの設定値を変更するか、DUのプライオリティ設定を変更してください。
39	録音失敗	-	録音機能に異常が発生しました。ウェブリモートにおいて録音操作を伴わない録音不可エラーなど。 •CU本体で録音中にエラーが発生していないか確認してください。エラーが発生していれば、その内容に従って対処してください。
40	デバイスID XXX バッテリー1 Low	-	機器ID XXXのIRDUに装着されているバッテリー1の残量が少なくなっています。 •バッテリー1を交換してください。
41	デバイスID XXX バッテリー1 Empty.	-	機器ID XXXのIRDUに装着されているバッテリー1の残量が無くなりました。 •バッテリー1を交換してください。
42	デバイスID XXX バッテリー2 Low	-	機器ID XXXのIRDUに装着されているバッテリー2の残量が少なくなっています。 •バッテリー2を交換してください。
43	デバイスID XXX バッテリー2 Empty.	-	機器ID XXXのIRDUに装着されているバッテリー2の残量が無くなりました。 •バッテリー2を交換してください。
44	デバイスID XXX IRDU応答なし	-	機器ID XXXのIRDUから応答がありません。 •設置マニュアルを参考に、IRDUとIRAの設置環境をご確認の上、直前に行った操作をもう一度実行してください。
45	-	Boot Error XXX	起動時に異常が発生しました。(XXX:エラーコード) •電源OFF後、再起動時に同じエラーが発生しないか確認してください。同じエラーが発生する場合は、CUの修理が必要となります。
46	-	Chg to FreeTalk Mode	コントロール機器との通信に異常が発生したため、会議モードをコントロール機器が不要なフリートークに切り替えます。 •ネットワーク接続に問題がないか確認してください。
47	-	Forcible FW Update	CUの強制アップデートを行います。 •メッセージに従いアップデート中は絶対に電源をOFFしないでください。
48	-	Connect USB Device with FW Update File	強制アップデートを行います。(CU/DUどちらの場合でも表示されます) •ファームウェアの保存されたUSBデバイスをCUに装着してください。
49	-	Warning 60D	DUのトポロジーが変更されていないのに、接続台数が変更されました。 •システム内のDUに不具合が発生した可能性があります。頻発する場合は、速やかに当社営業窓口までお問い合わせください。

株式会社オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬 2-46-1

www.audio-technica.co.jp

©2024 Audio-Technica Corporation

製品保証および修理などにつきましてはお買い上げのお店、または当社ホームページ記載の当社営業窓口までお問い合わせください。